

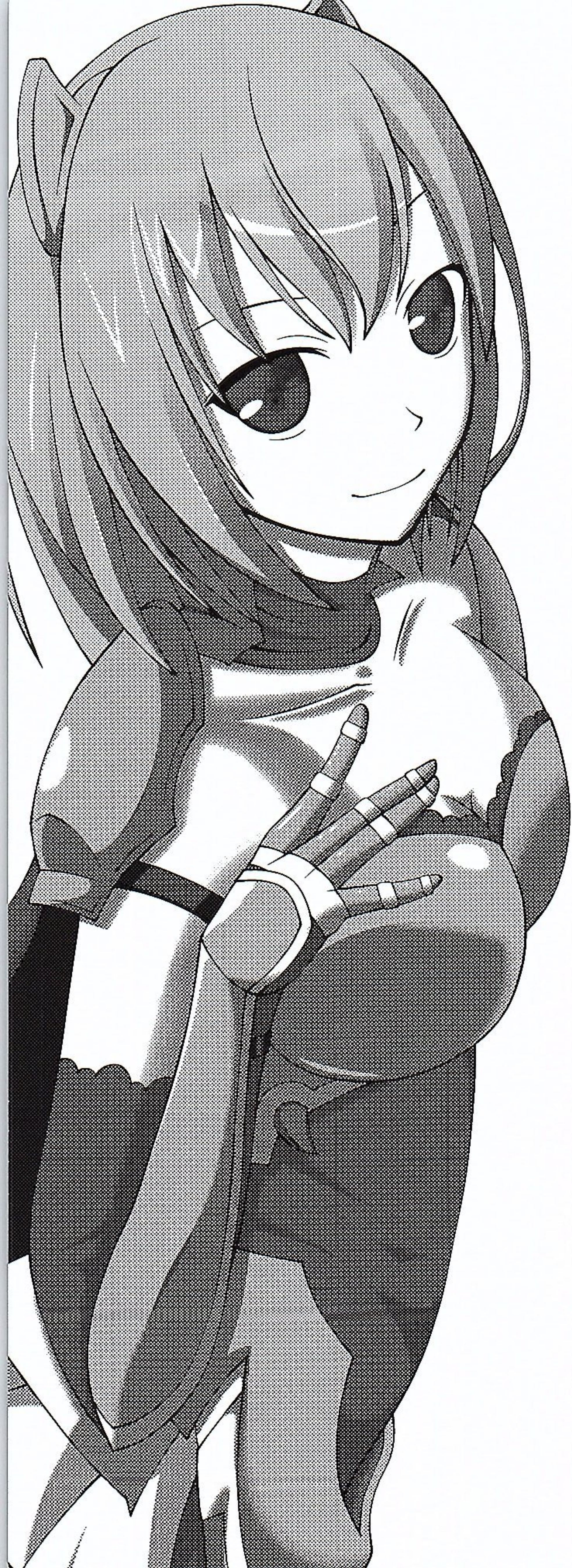


午前零時の
叙唱

真・大吟醸

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



まえがき

初めましての方&お久しぶりな方 こんにちは(°▽°)/イヨ一ウ
本を手にとってくださりありがとうございます。

私、真・大吟醸で仕事をしない編集長をしてる和葉といいます。

さて、今回はシンデレラブレイド (リリスとレイウ) 本となっています。

皆様はシンデレラブレイド2は打ちましたか？

私は2回ほど打ってみたのですが・・・いやあアッ勝てないね！！

初打ちはさくっと天井までもっていかれ、レイウをおしりペンペンしたものの48G・・・。(/ ㄏ) ・・・。
さくっと終了しました。

2回目も似たような感じでさくっと終了・・・それ以降は打ってませんYO!

ほんま最近、ギャンブル運に見放されてます(´・ω・`)

打っても勝てないからお店に行かなくなってるこの頃・・・
なかなか打ちたいと思う機種も見当たらないし、どうしたものやら・・・

とまあ近況はこの辺で。

真・大吟醸としてこの本はなんと10冊目！！

ここまで描いてこれたのは、手に取ってくれた皆様のおかげだと思っています(´▽`*)

これからもよろしくお願ひします。

でわ本編へどうぞ(´▽`)/~~~~

貴女^{レイラ}がはじめて
この屋敷に来たときから



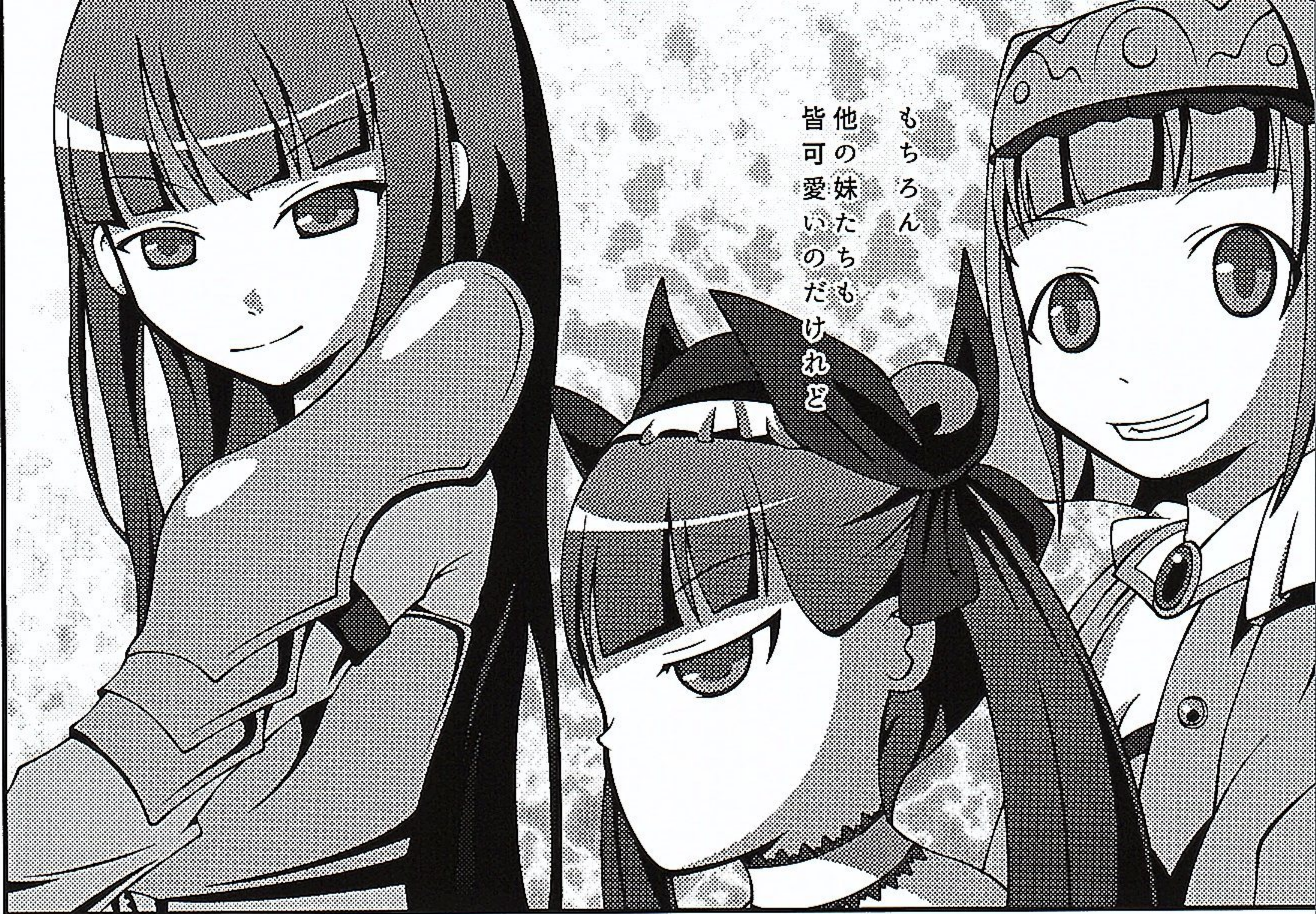
私の目には
貴女しか見えなくなつて



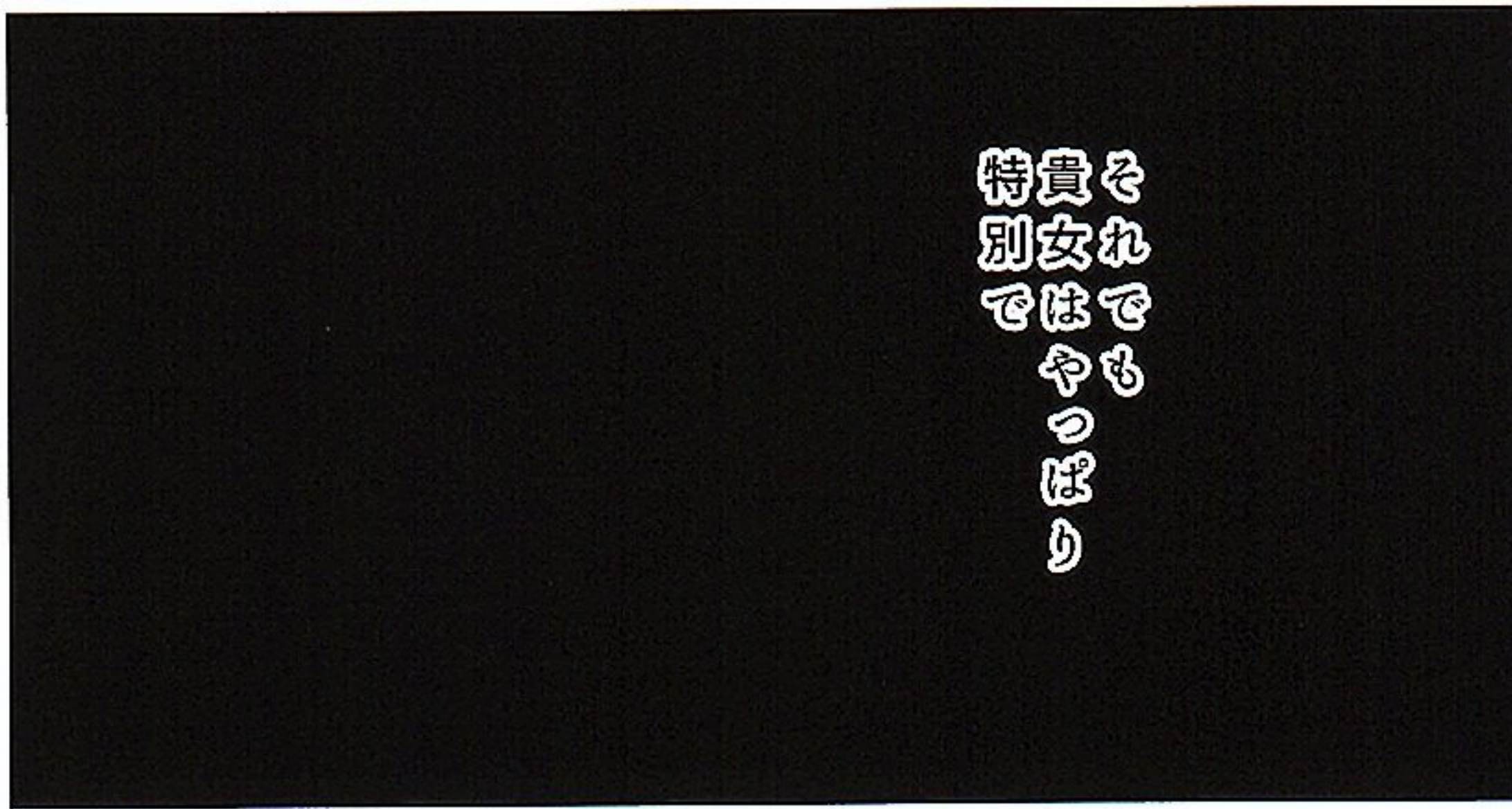
貴女のその
楽しい笑顔も

時折見せる
悲しい表情も

いつか手の届かならぬまで
行ってしまひそうぞ



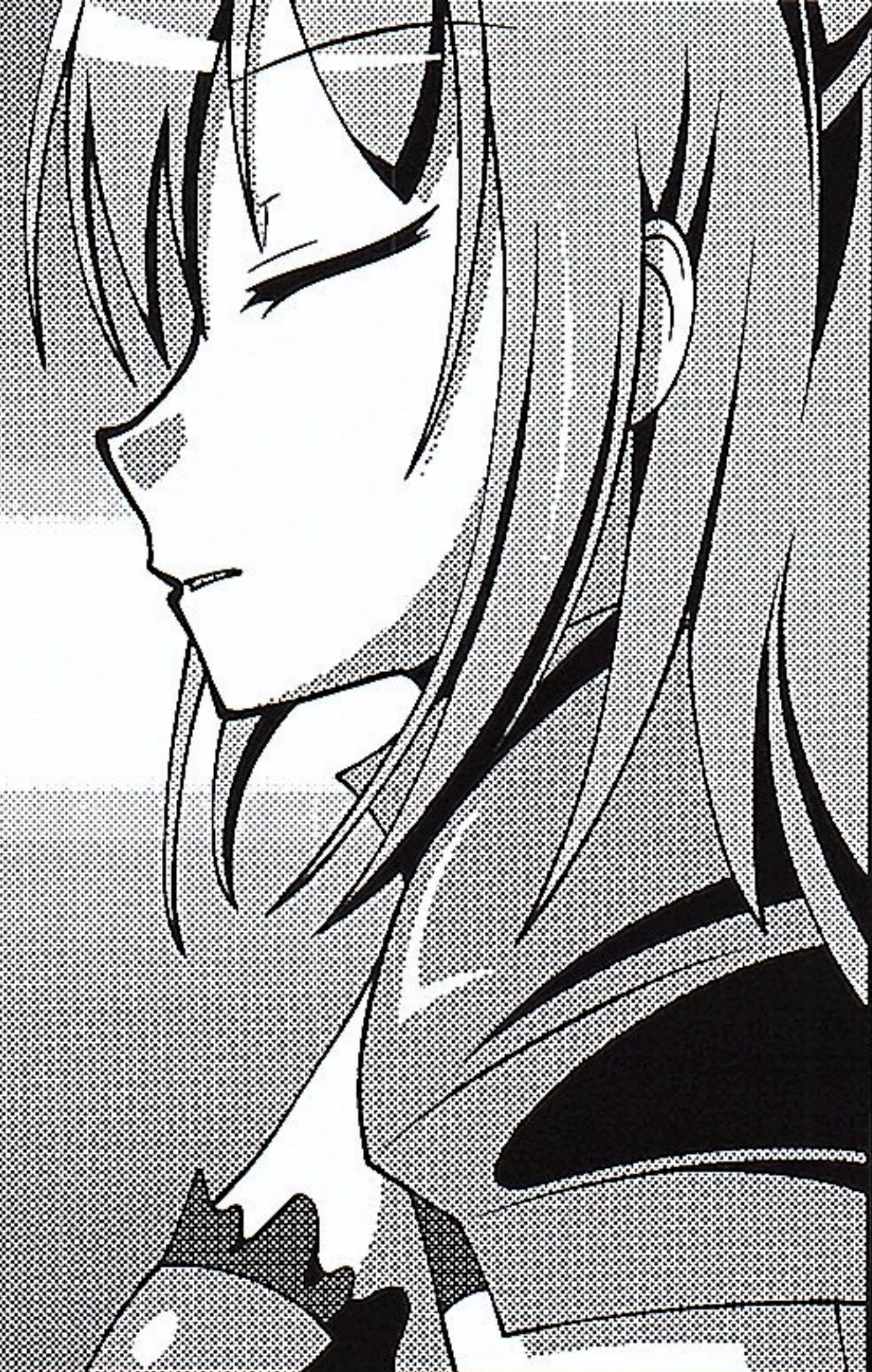
もちろん
他の妹たちも
皆可愛いのだけれど



それでも
貴女はやっぱり
特別で



あなた
だけに
入るの
すべて
を……



午前零時の叙唱

Midnight recitative

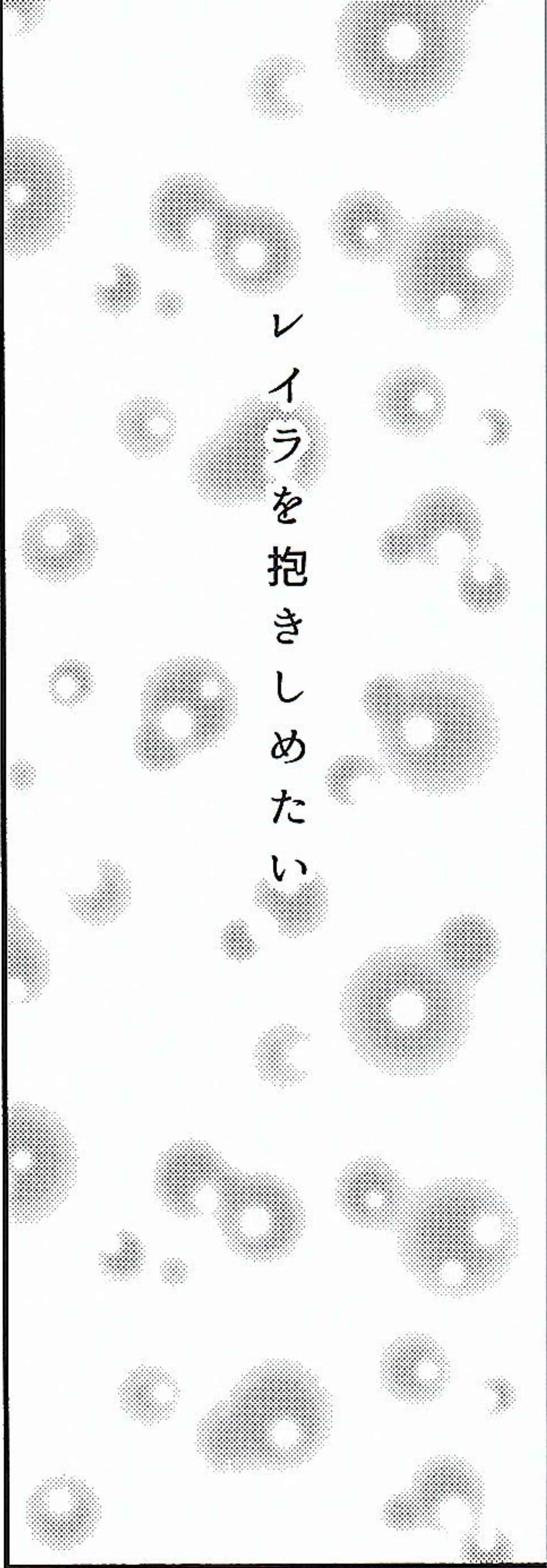


……と
言うものの



実の姉妹で
そんなこと
できないわよねー

(血はつながってないとはいえ)



レイラを抱きしめたい



抱きたいなら
抱けばいいじゃん

何奴だ

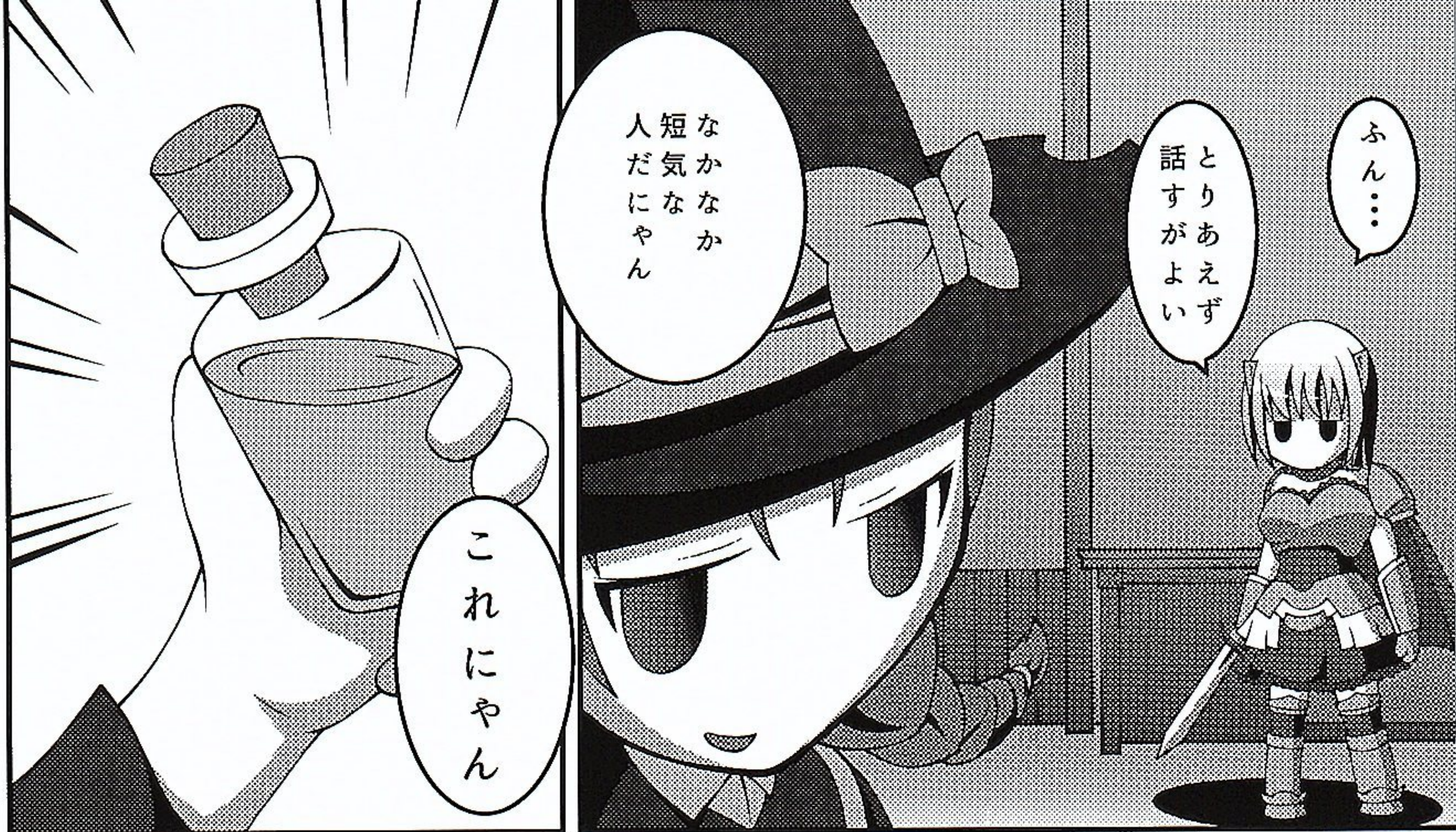
決してあやしいにゃん
ものではないにゃん

単なる
通りがりの
魔女にゃん

千々キ

どこからどう見ても
あやしきMAXな
わけだが

違うにゃん
まず話を
聴いてほしいにゃん

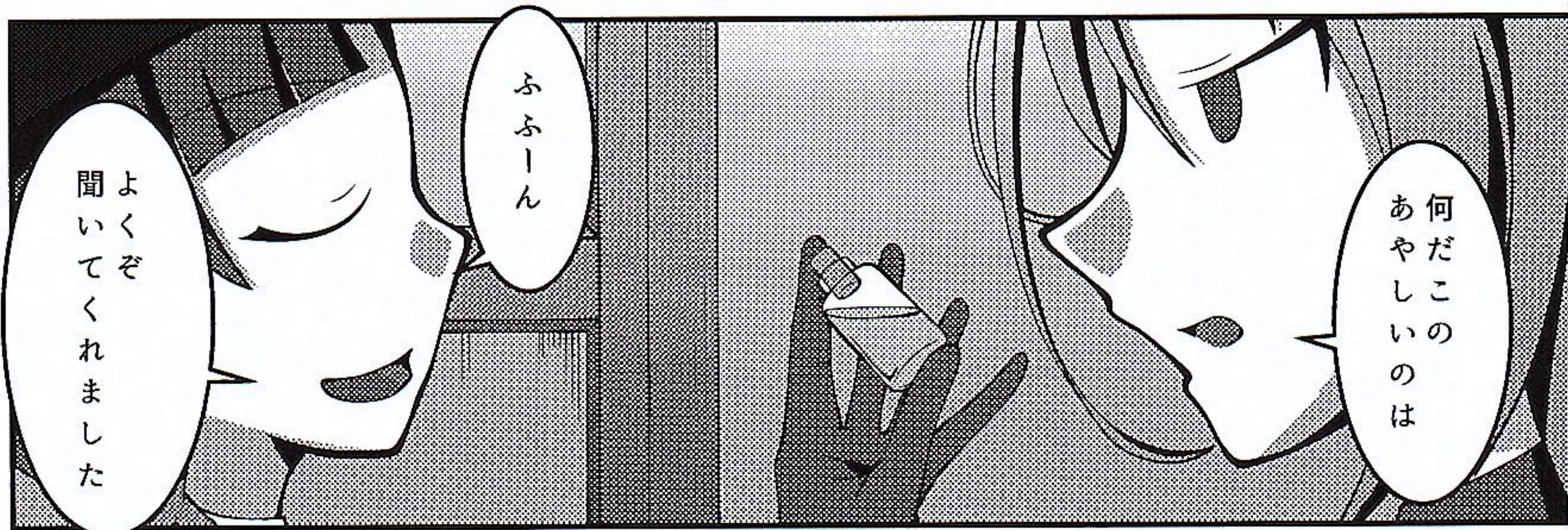


なかなか短気な人だにゃん

ふん...

とりあえず話すがよい

これにゃん



あやしいのは

ふふーん

よくぞ聞いてくれました



それは魔力で作られた超強力な媚薬にゃん

たった数滴でものすごい効果にゃん



ふーん

ソウナナダー

うわ……
全然信用されてない



ただ……
少し注意点が
あるにゃん

注意点？

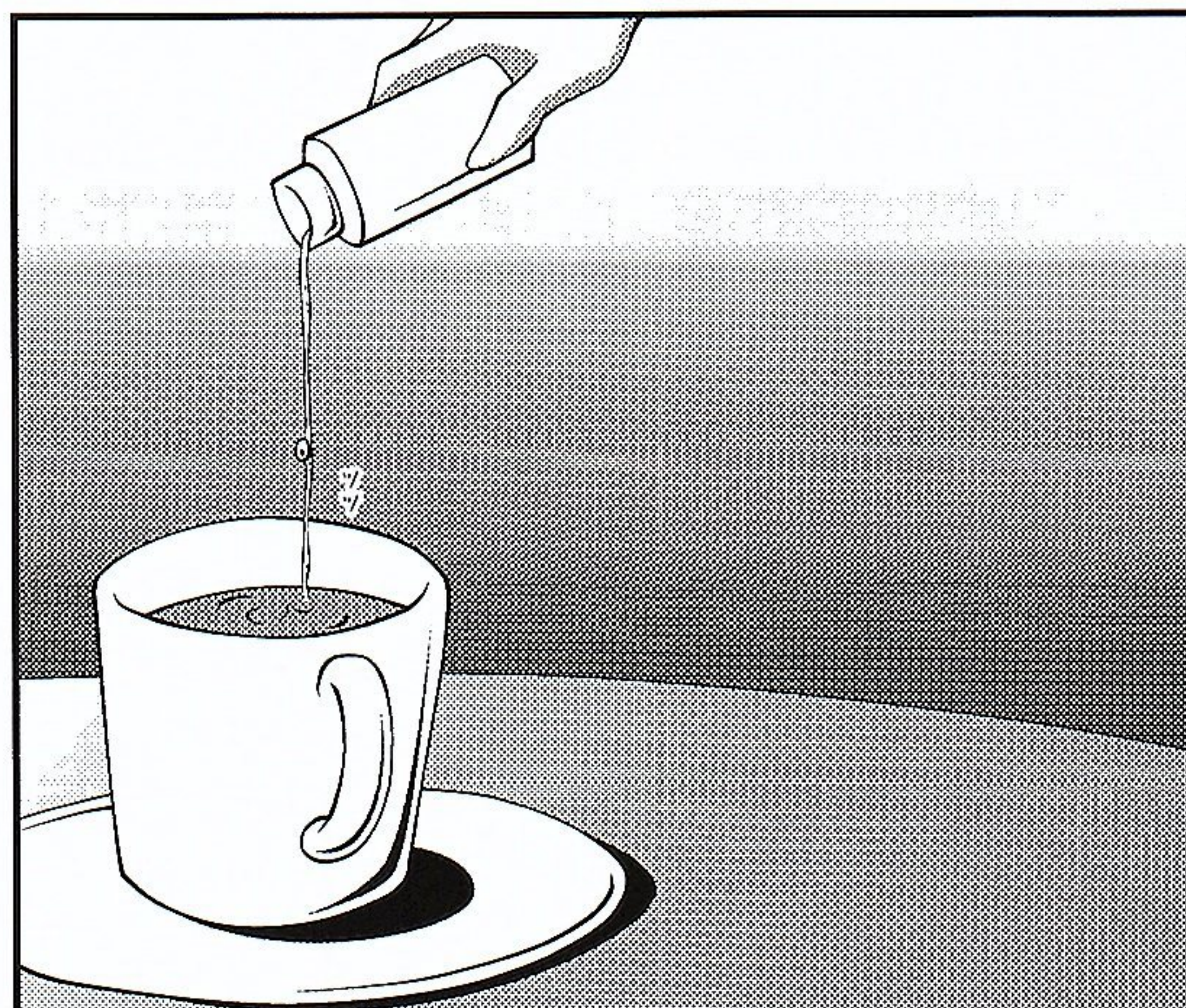


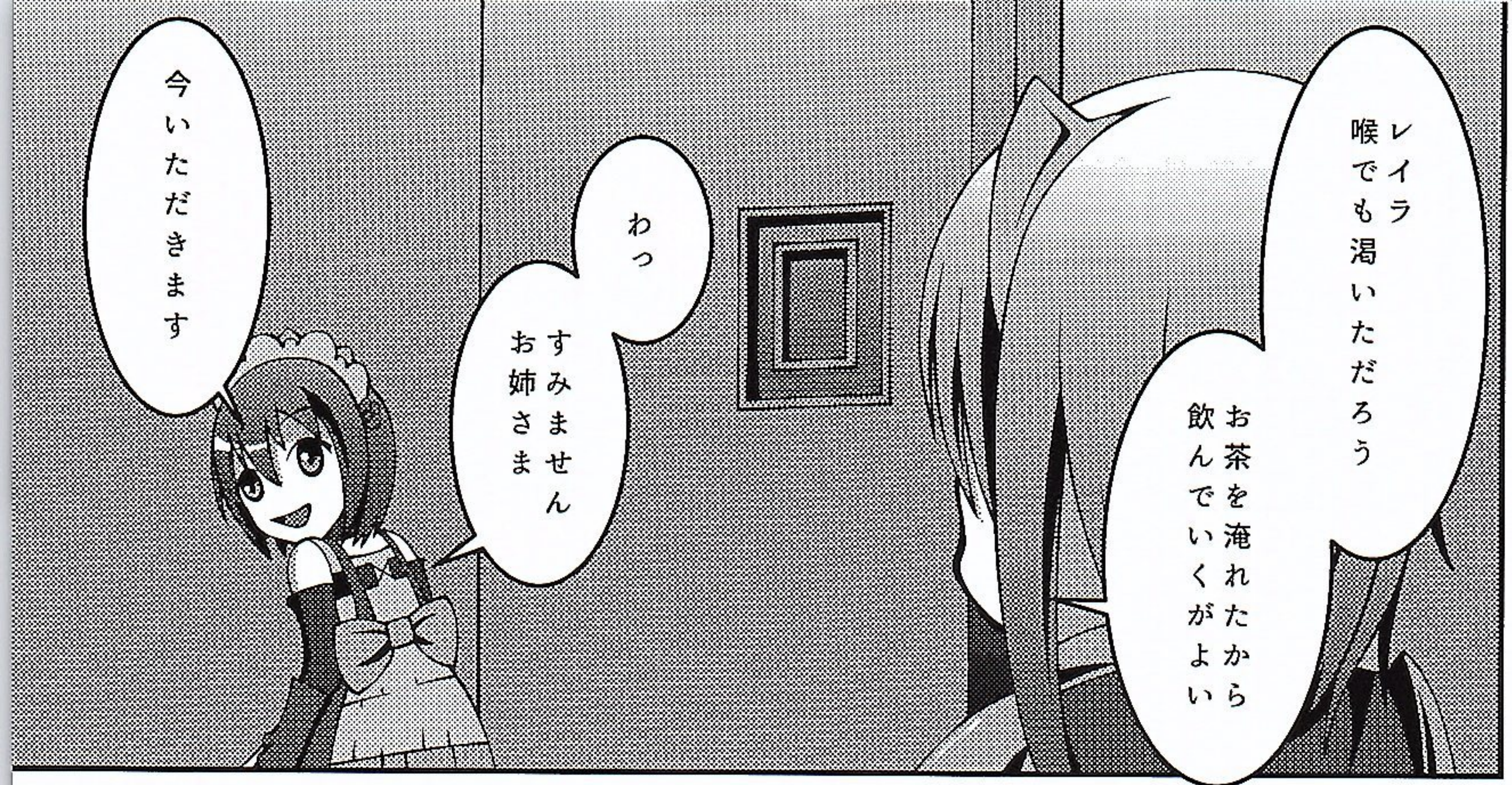
次の日には綺麗さっぱり忘れて
何もおぼえてないにゃん

ただけど
まだ試作品の段階で
深夜0時をまわると
眠りに落ちてしまうと
にゃん

そう言われてもなあ……

そのことだけ
気をつけてほしいにゃん





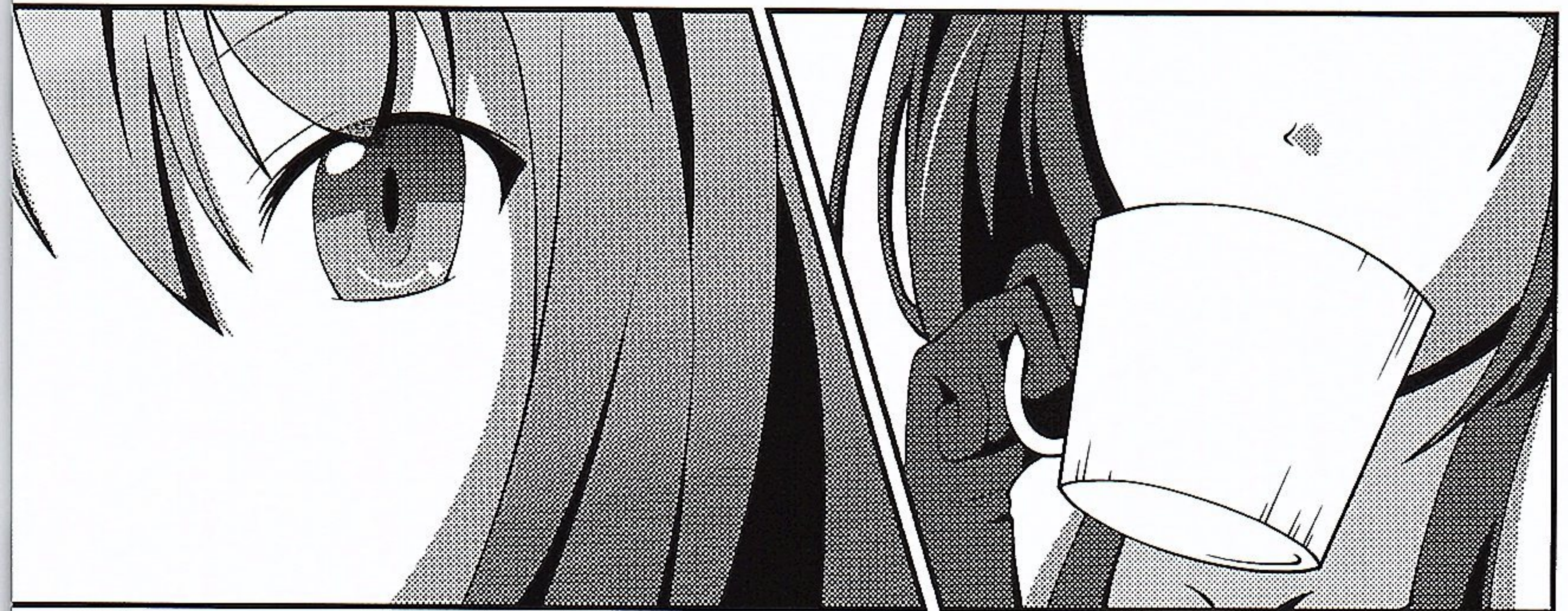
レイラ
喉でも渴いただろう

お茶を淹れたから
飲んでいくがよい

わっ

すみません
お姉さま

今いただきます



はあー

お姉さまのお茶は
いつ飲んでも
美味しいですね

はは...

それは何よりだ

そりゃそうか

そもそも
ちよー怪しい
イタい魔女の話だし

つーか
魔法とか
あるわけないし

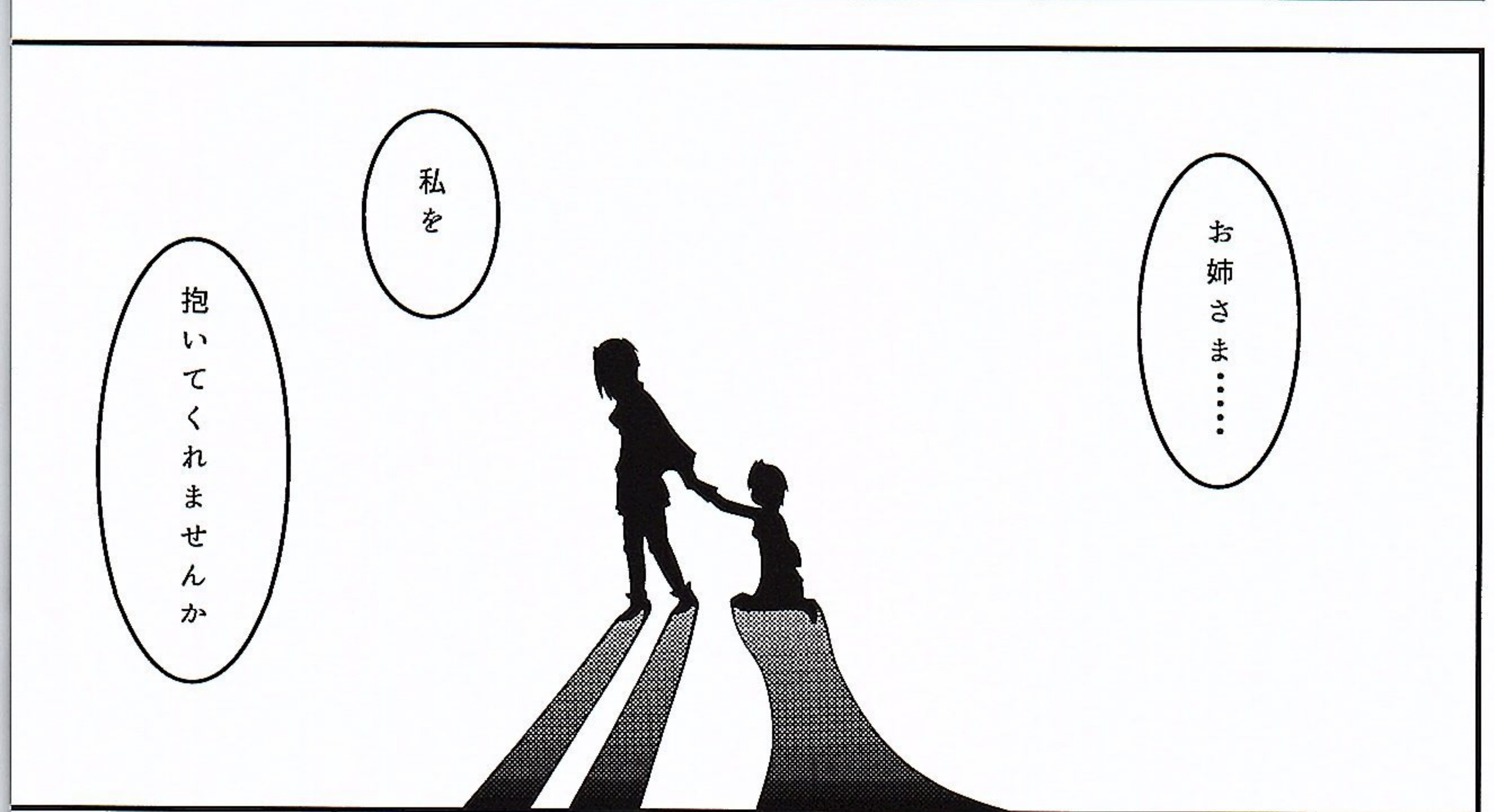
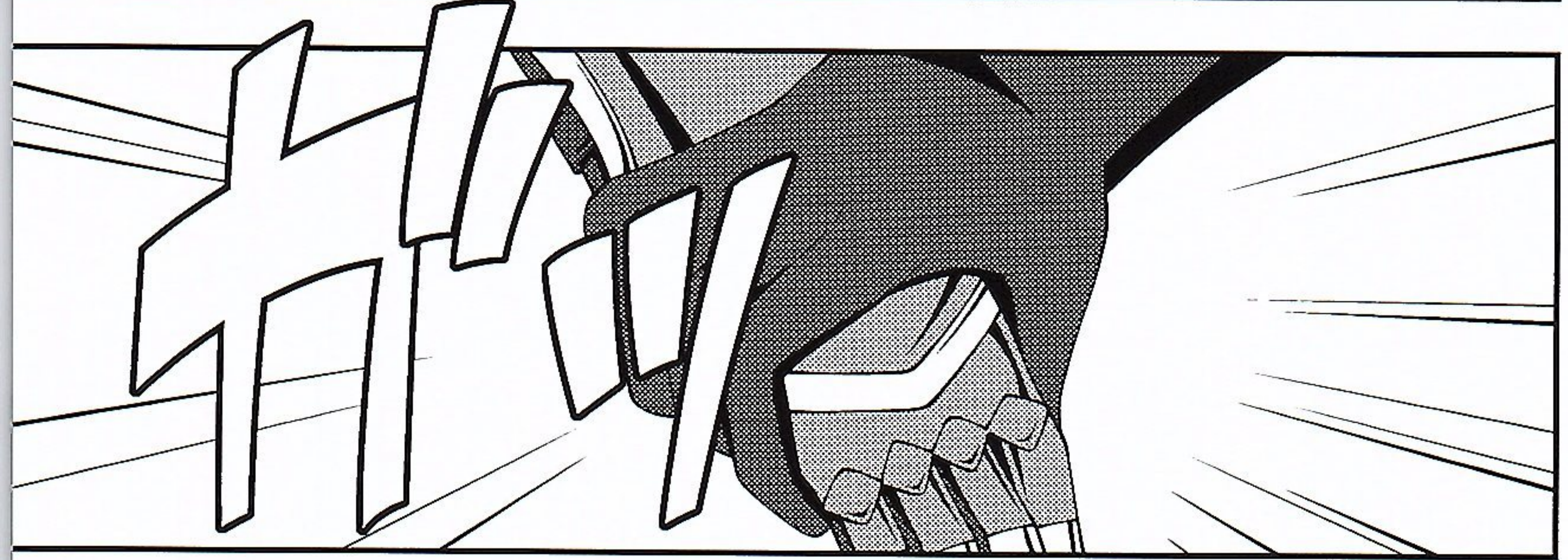
ちよつと
待ってる

たしか
お茶請けが
このへ……

トキ



大丈夫か
レイラ





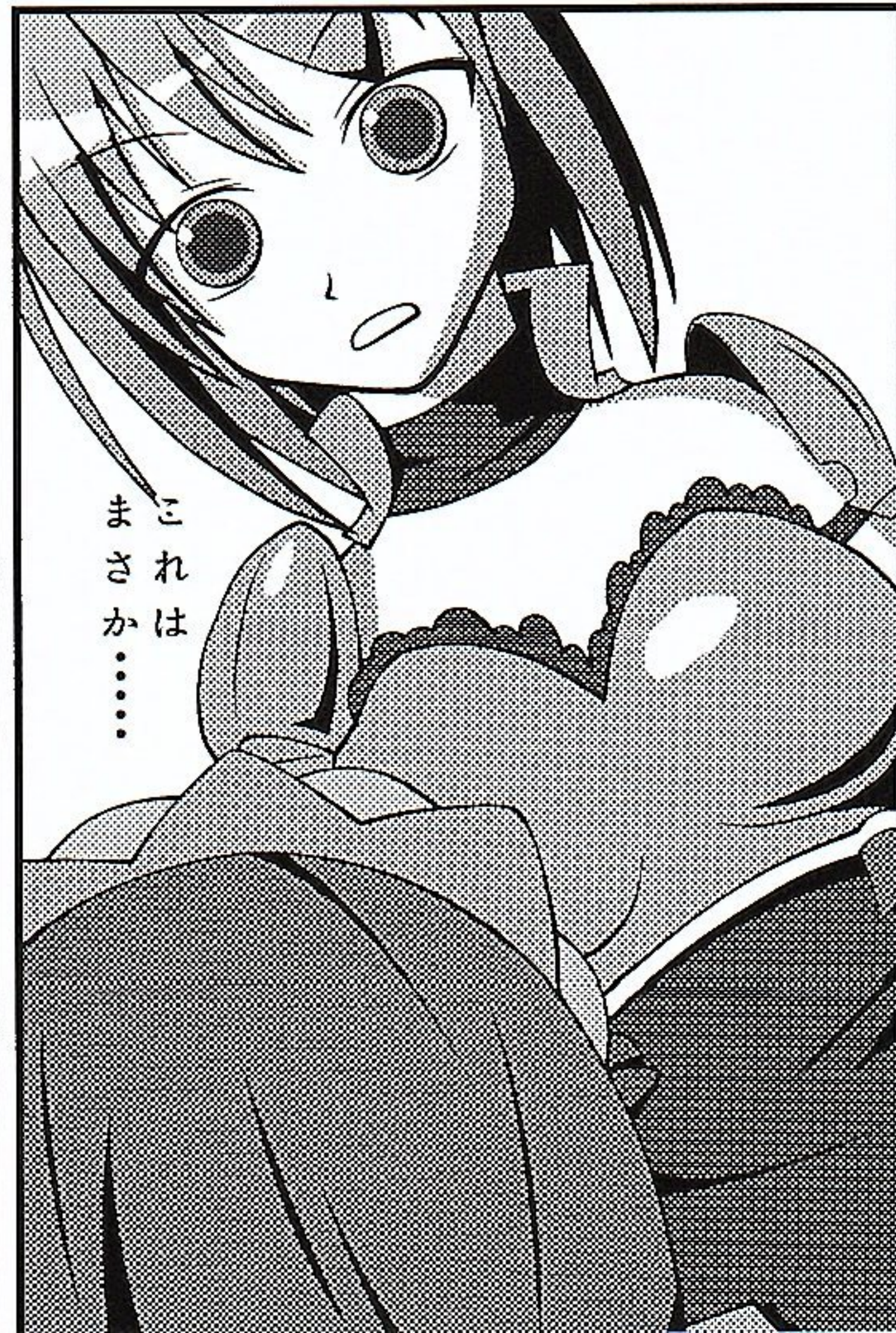
体が熱くなつて

このままだと
私

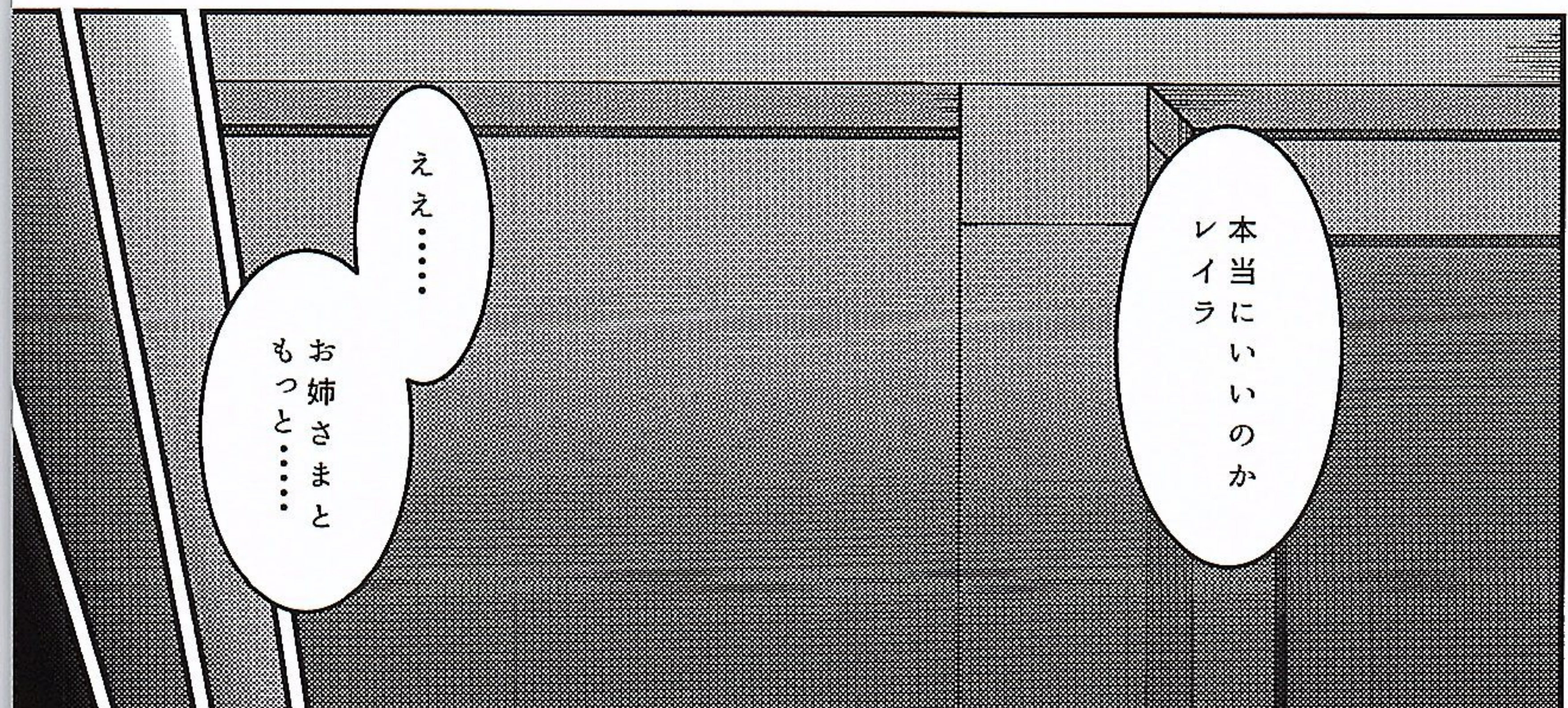
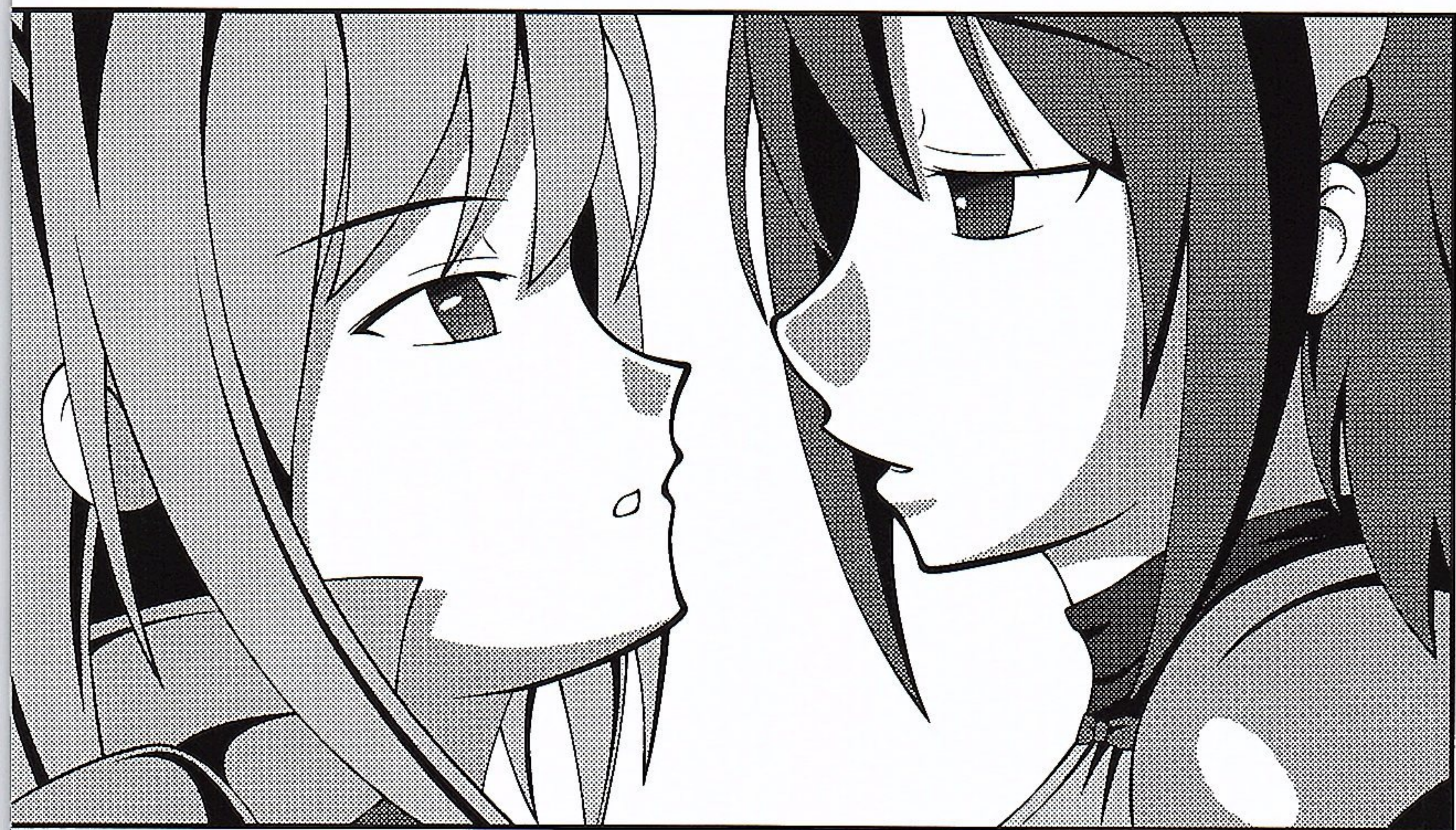
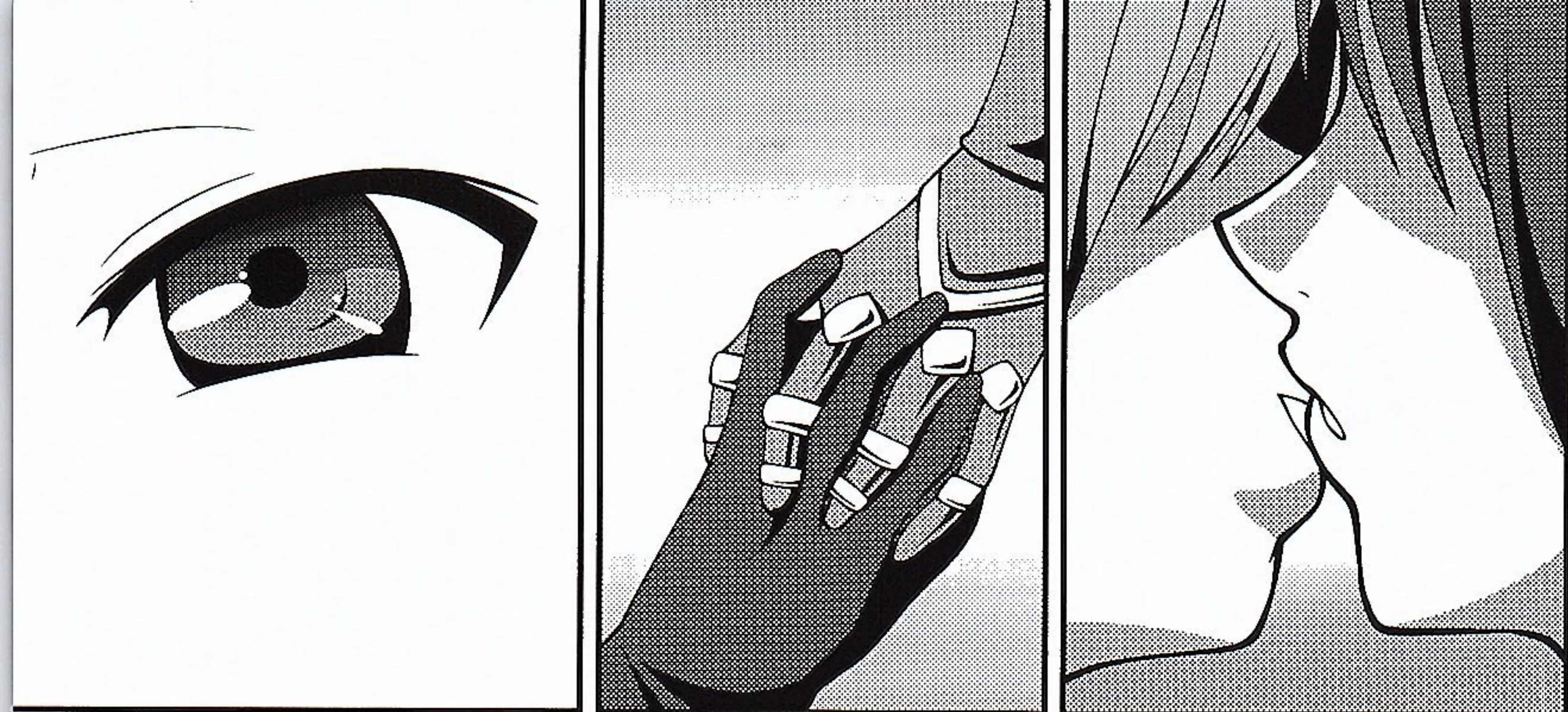
どうにか
なりそう
で



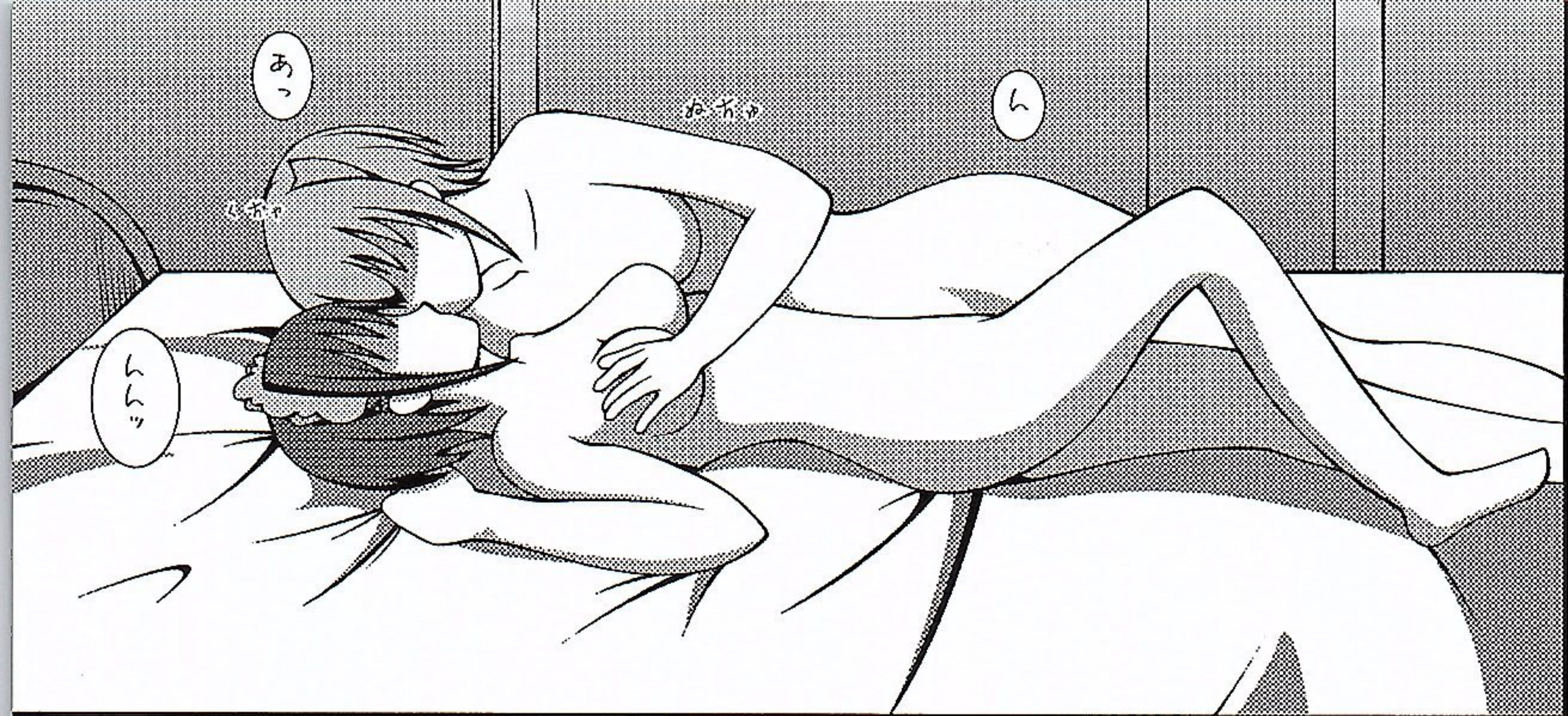
本物なのか

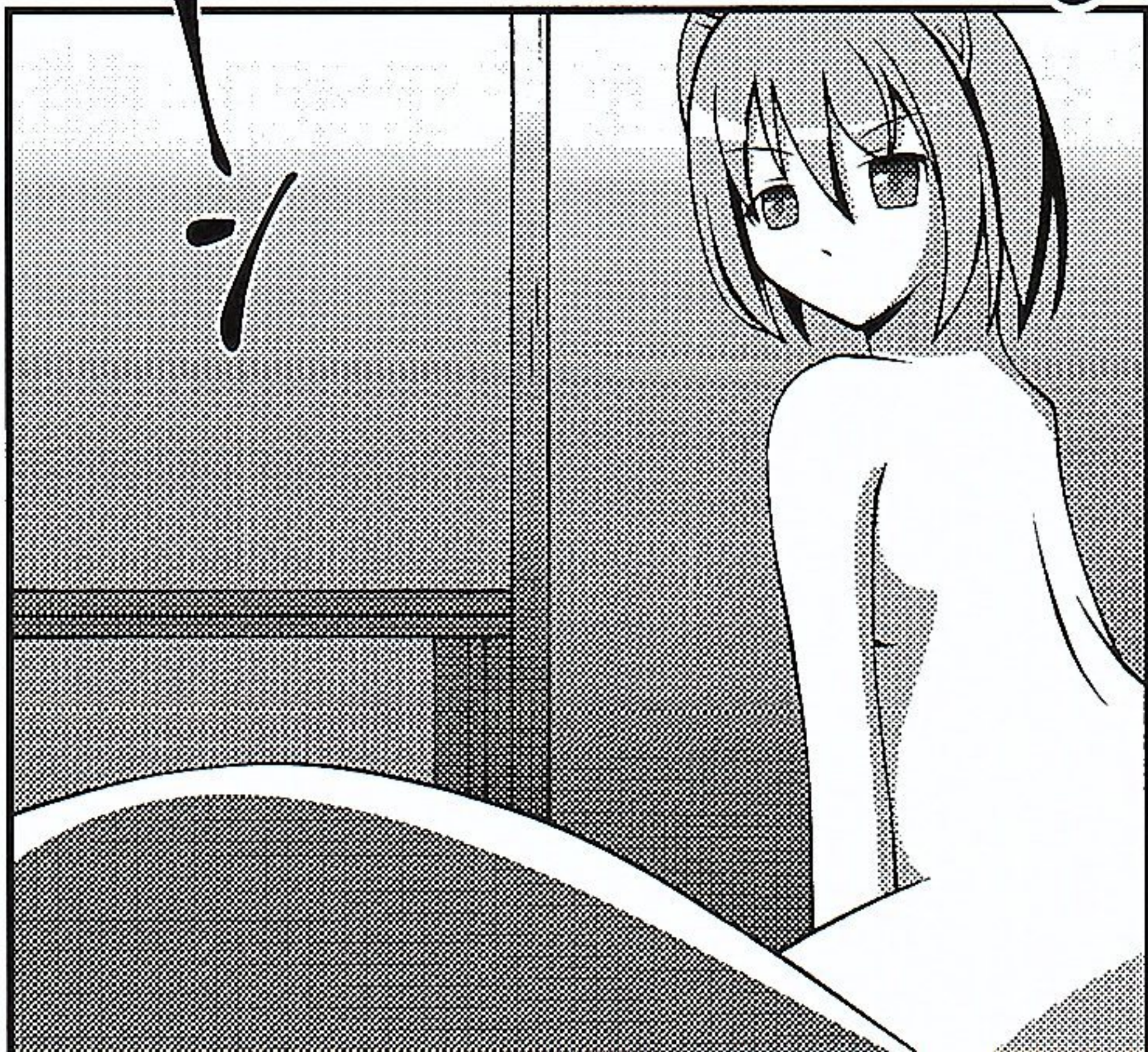
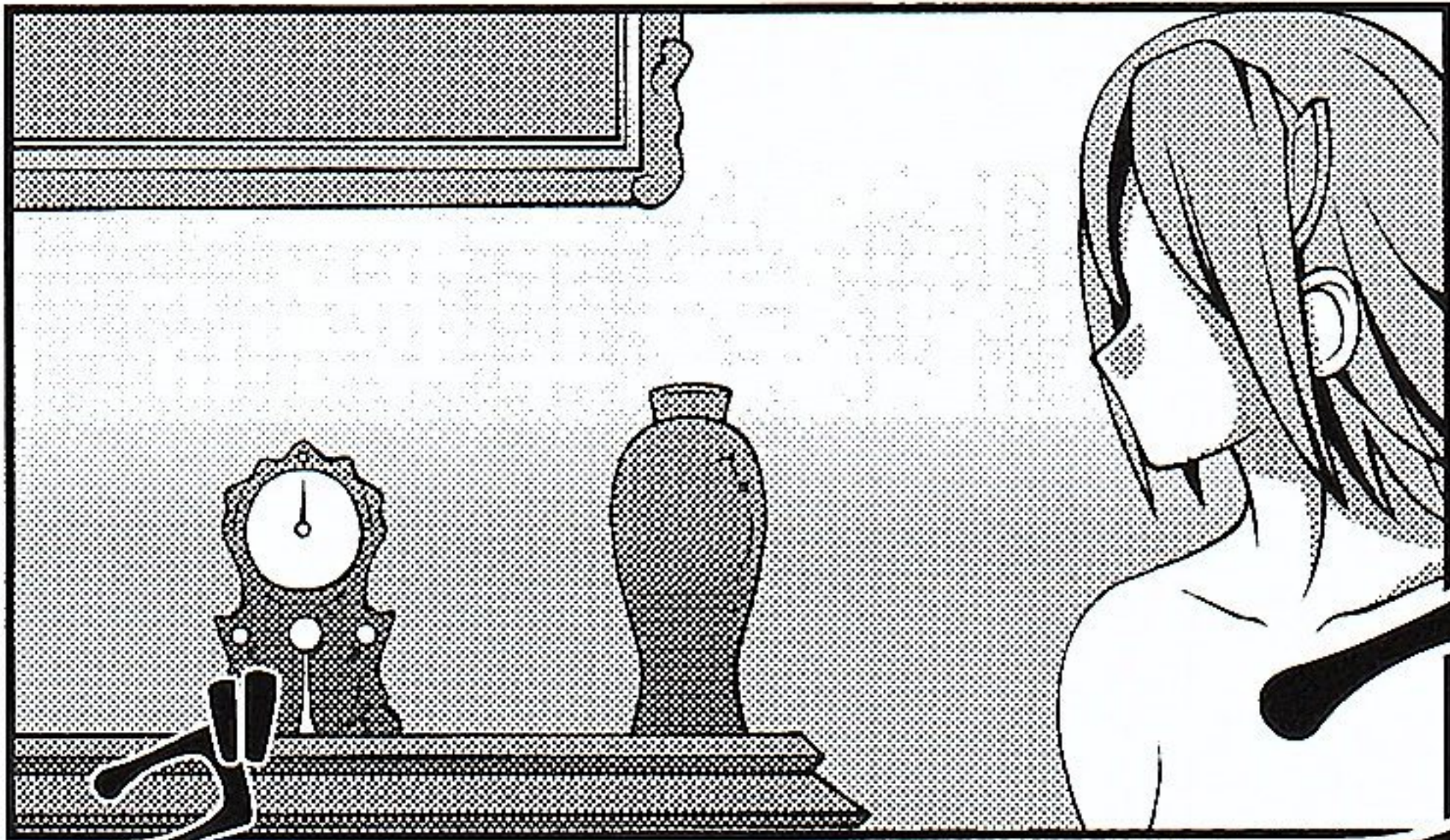
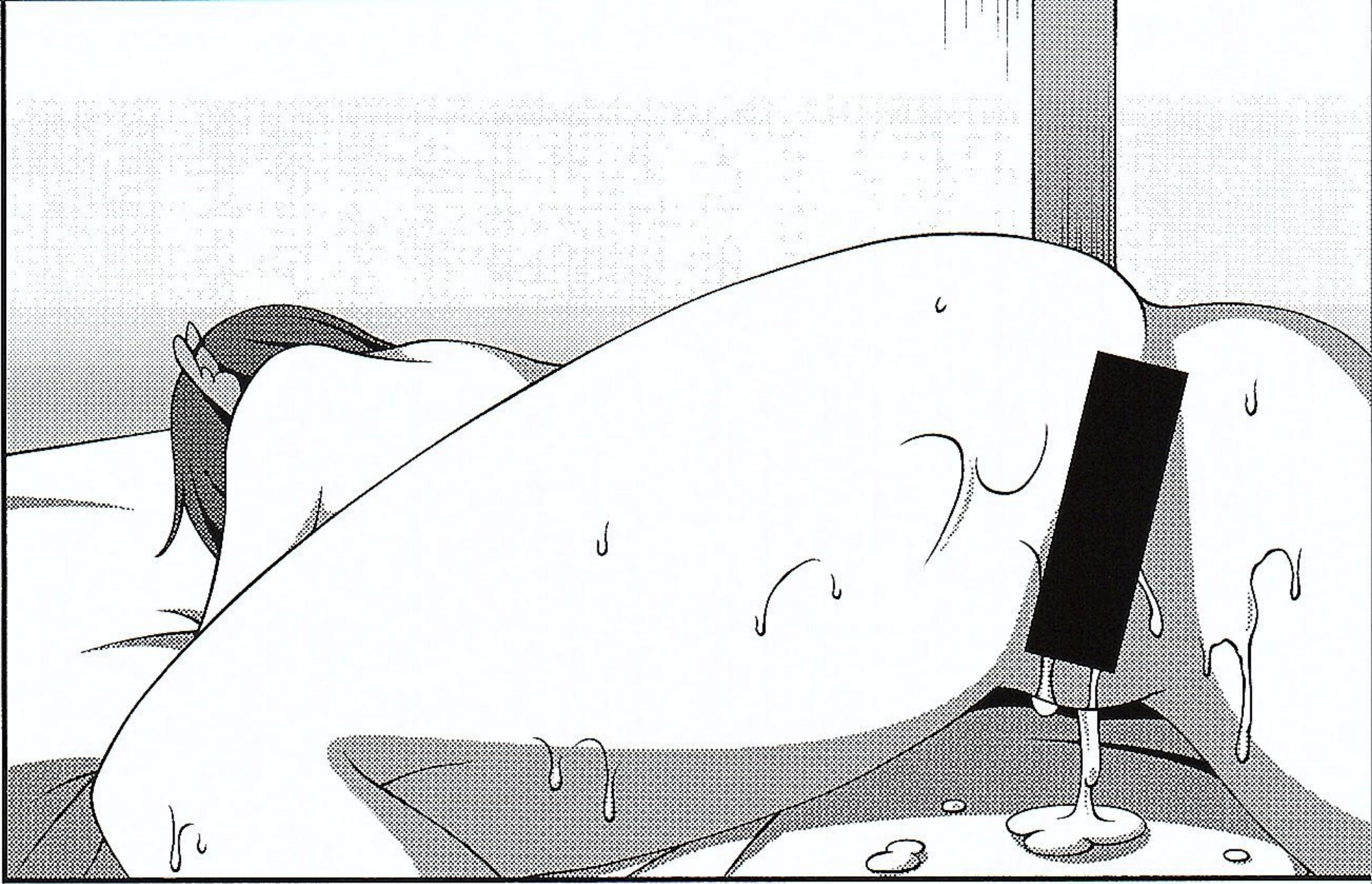


これは
まさか……







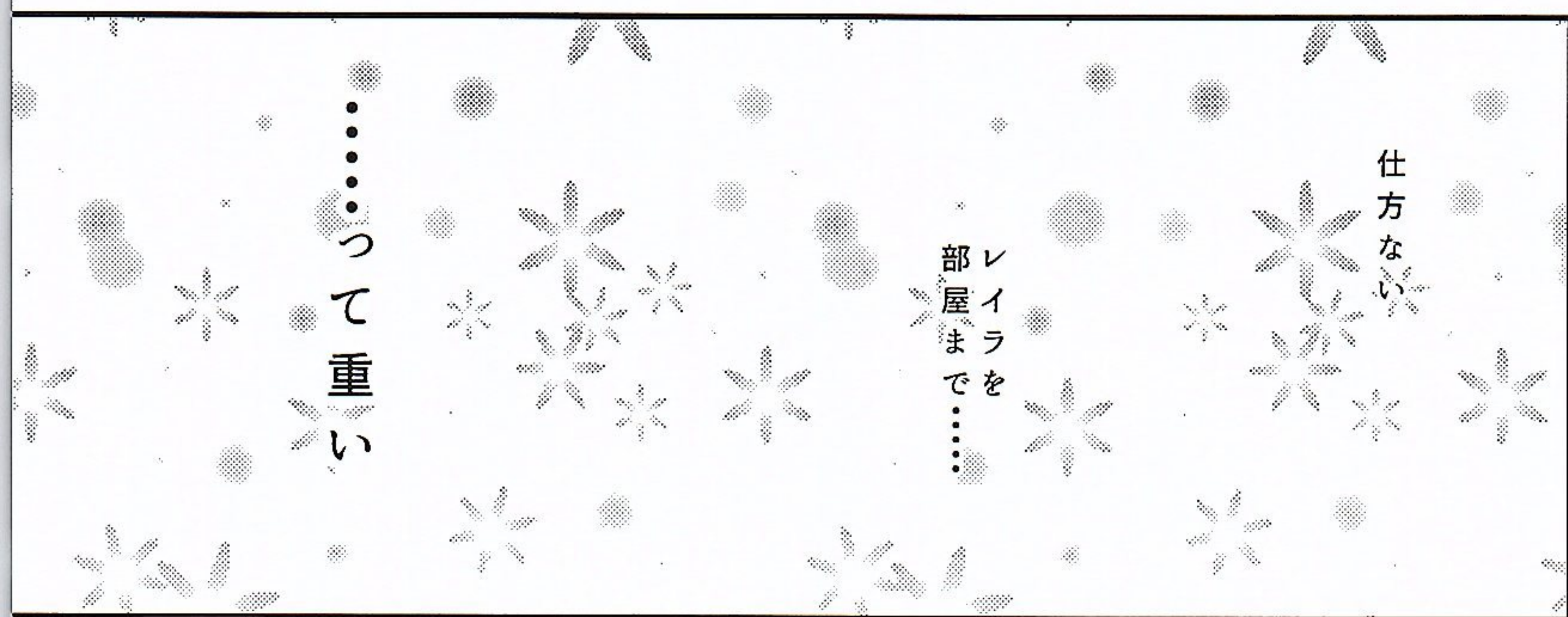




これも
話どおり……か



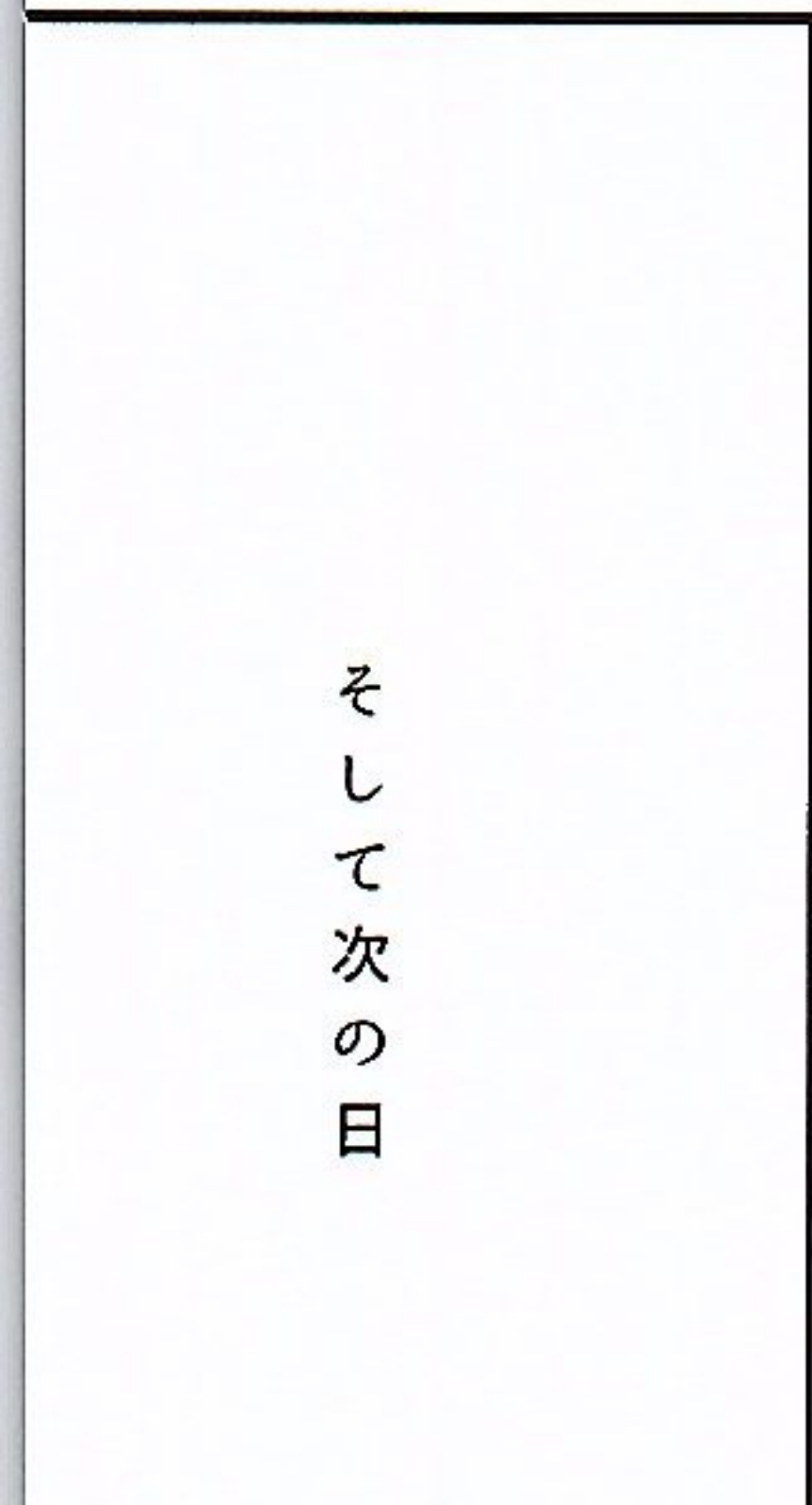
あー
あー



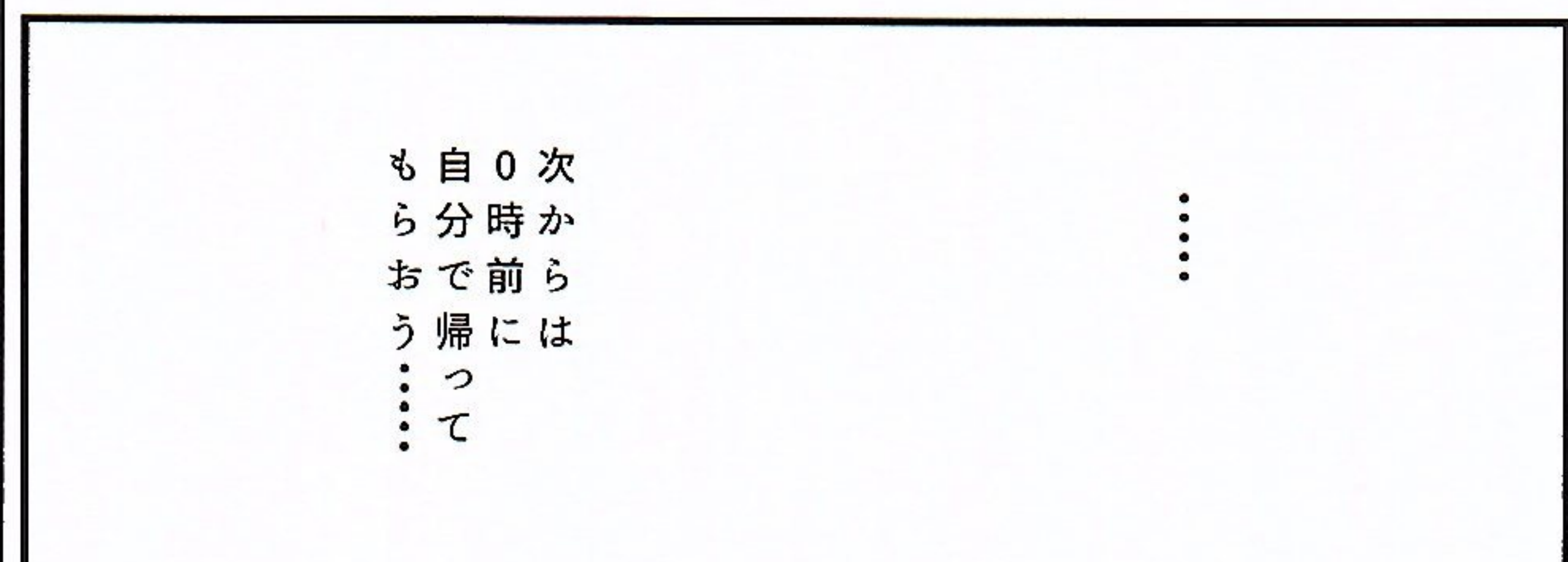
……って重い

レイラを
部屋まで……

仕方ない



そして次の日



次からは
0時から
自分でお
もらう……

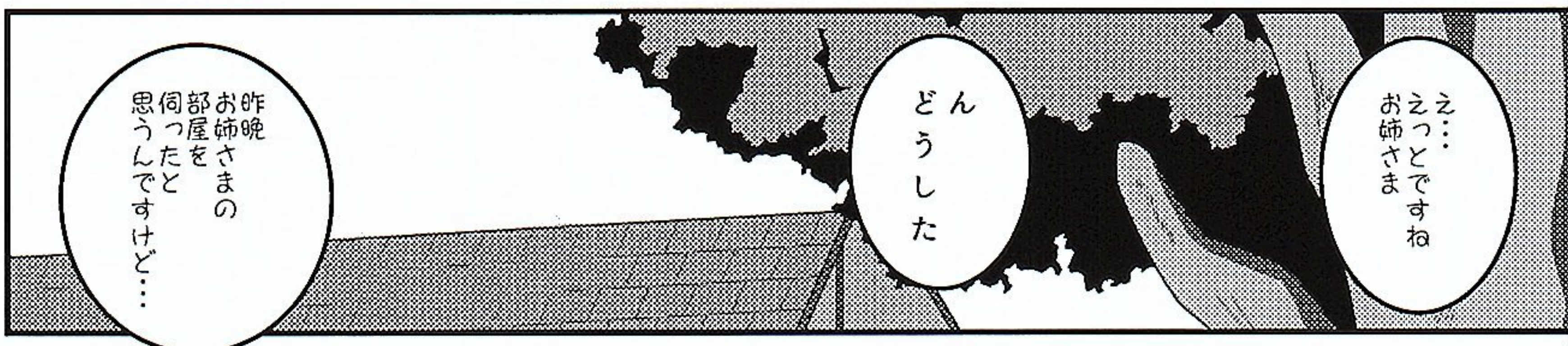
……



おはよう
レイラ

あ……
お姉さま

おはよう
ございます



え……
えっ……ですね
お姉さま

どうした

昨夜
お姉さまの
部屋を
伺ったと
思っただけ……



なんか
気がついたら
自分の部屋で
朝になつて

何か
失礼なことか
しませんでしたか

……

いや
だって通り
だったと思うが

これも
あの魔女の
言つた通り……



えっと……
レイラ

あ
そう
だ

あははは
それは
いつも
通り
なん
で

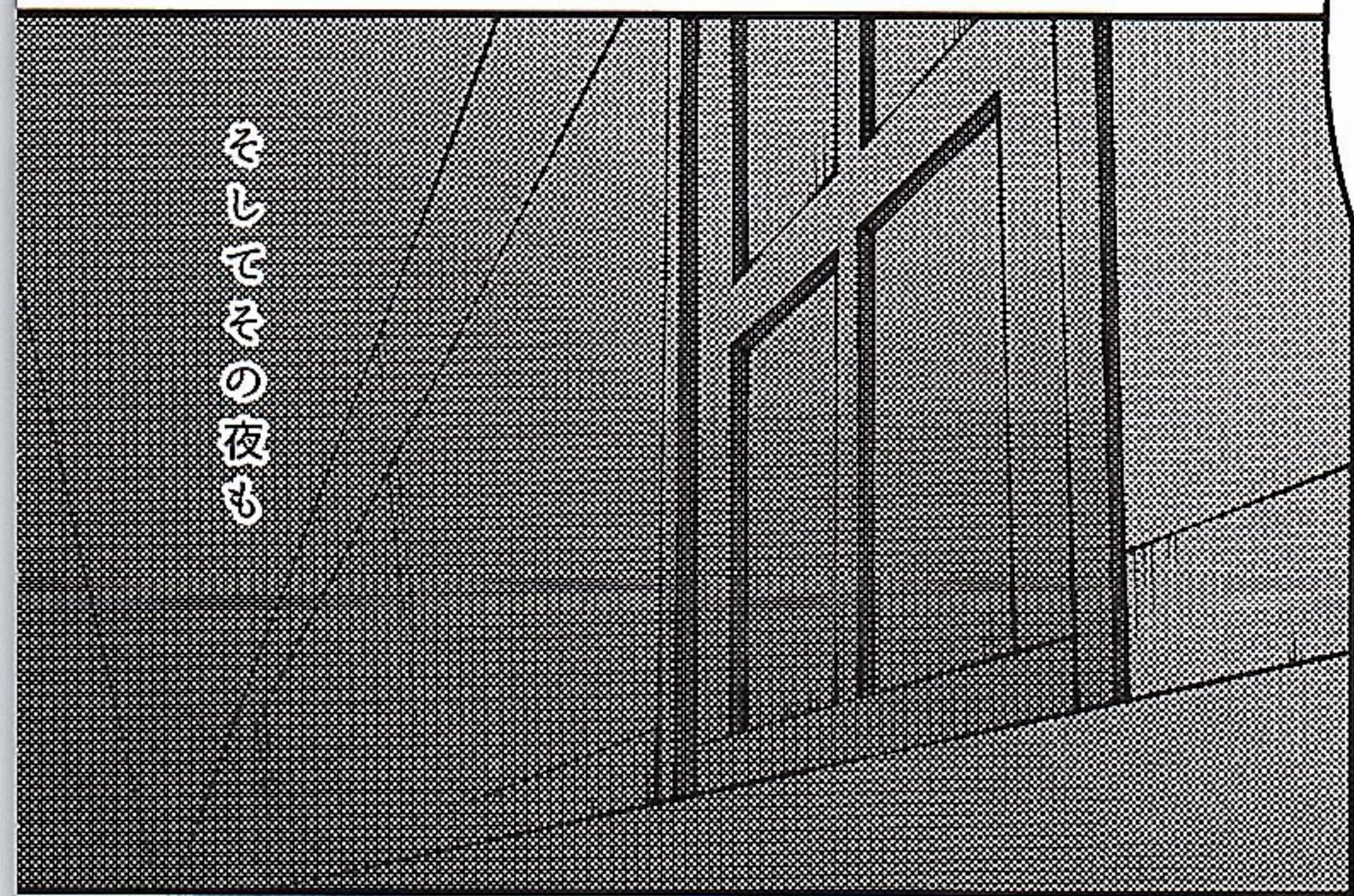
まあ
ドジ
なと
ころ
も
あ
っ
た
が



……

ああ……

待
っ
て
る

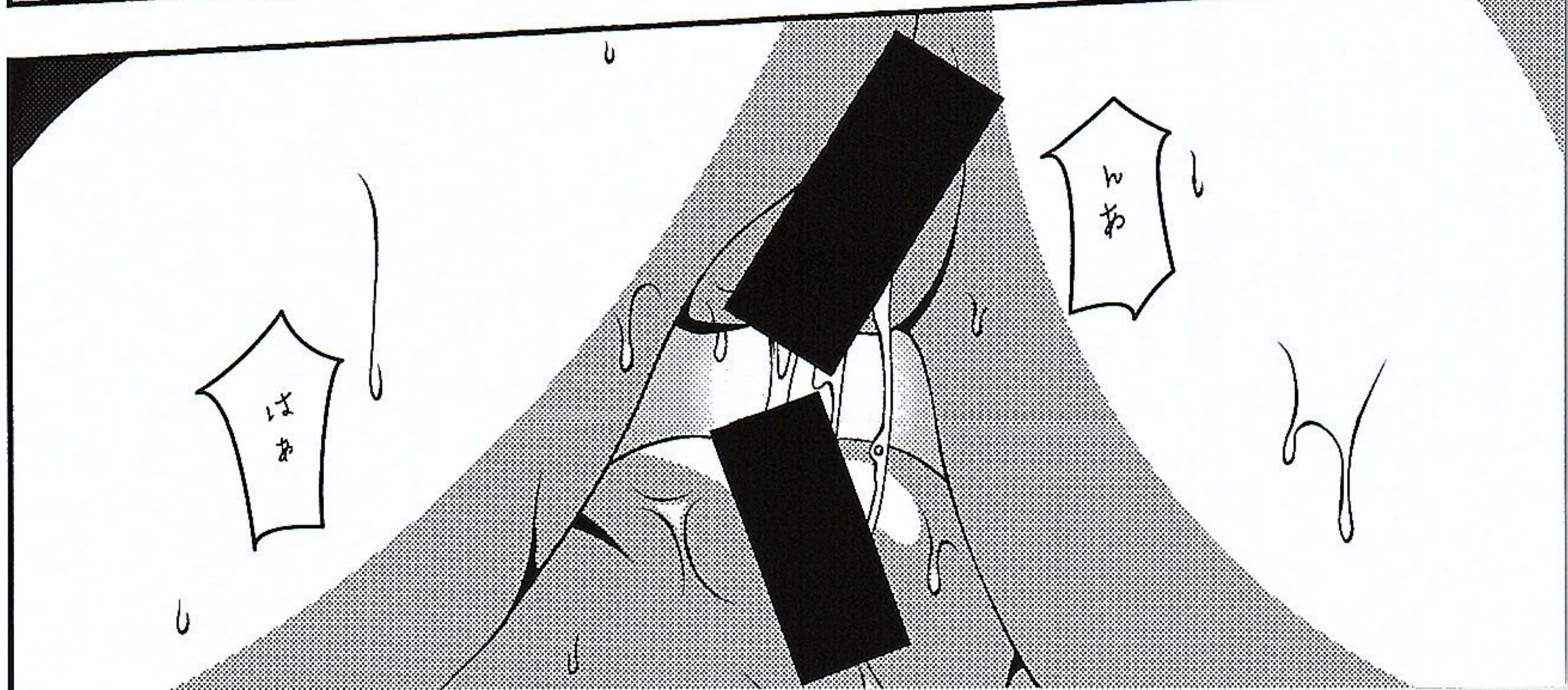
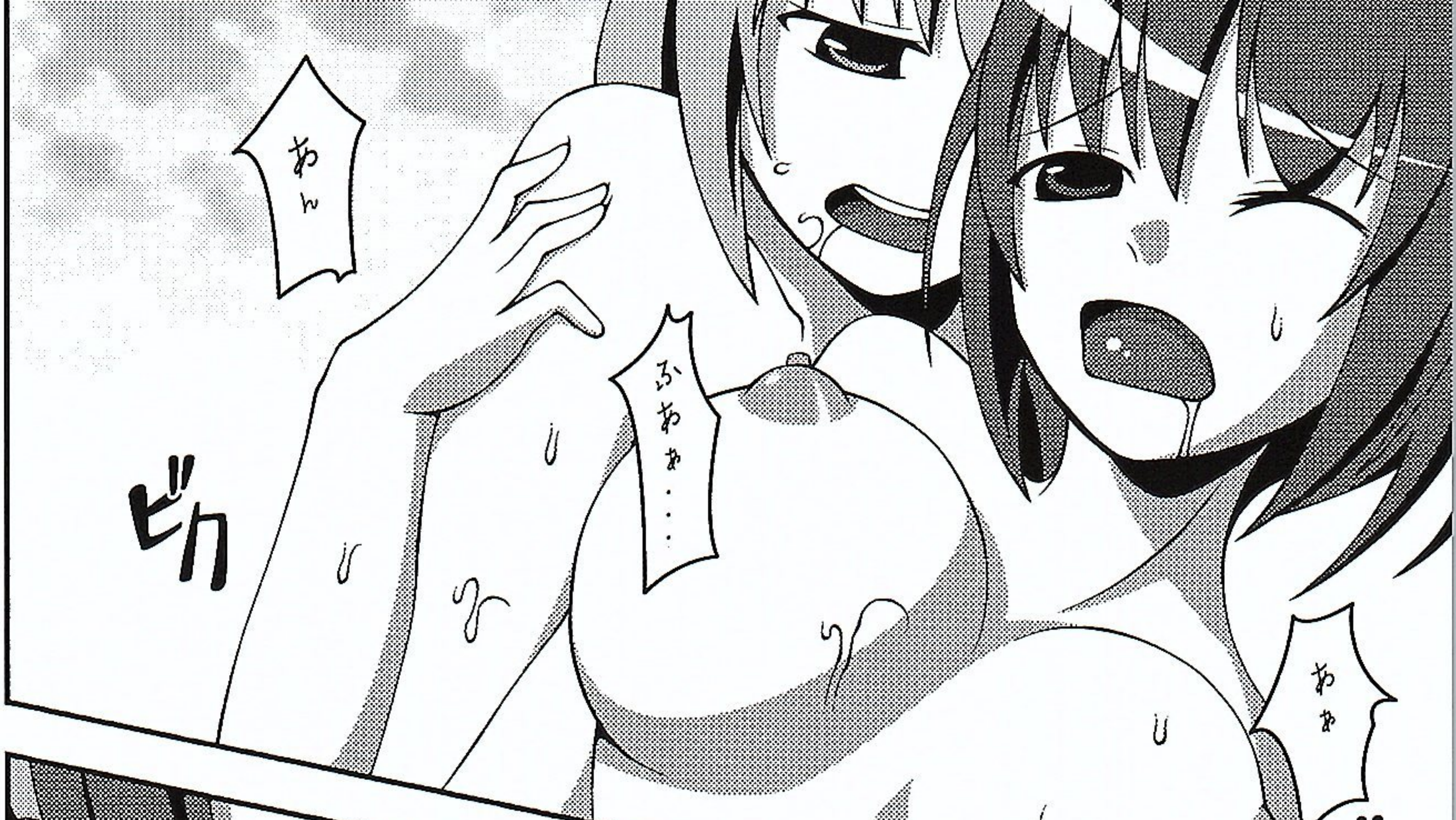


を
し
て
そ
の
夜
も



今
晩
も
お
姉
さ
ま
の
部
屋
伺
っ
て
も
い
い
で
す
か

お
姉
さ
ま
が
淹
れ
て
く
れ
た
紅
茶
美
味
し
か
っ
た
の
で
ま
た
飲
み
た
い
で
す



来る日も

あふ

ピクッ

んん

来る日も

あう

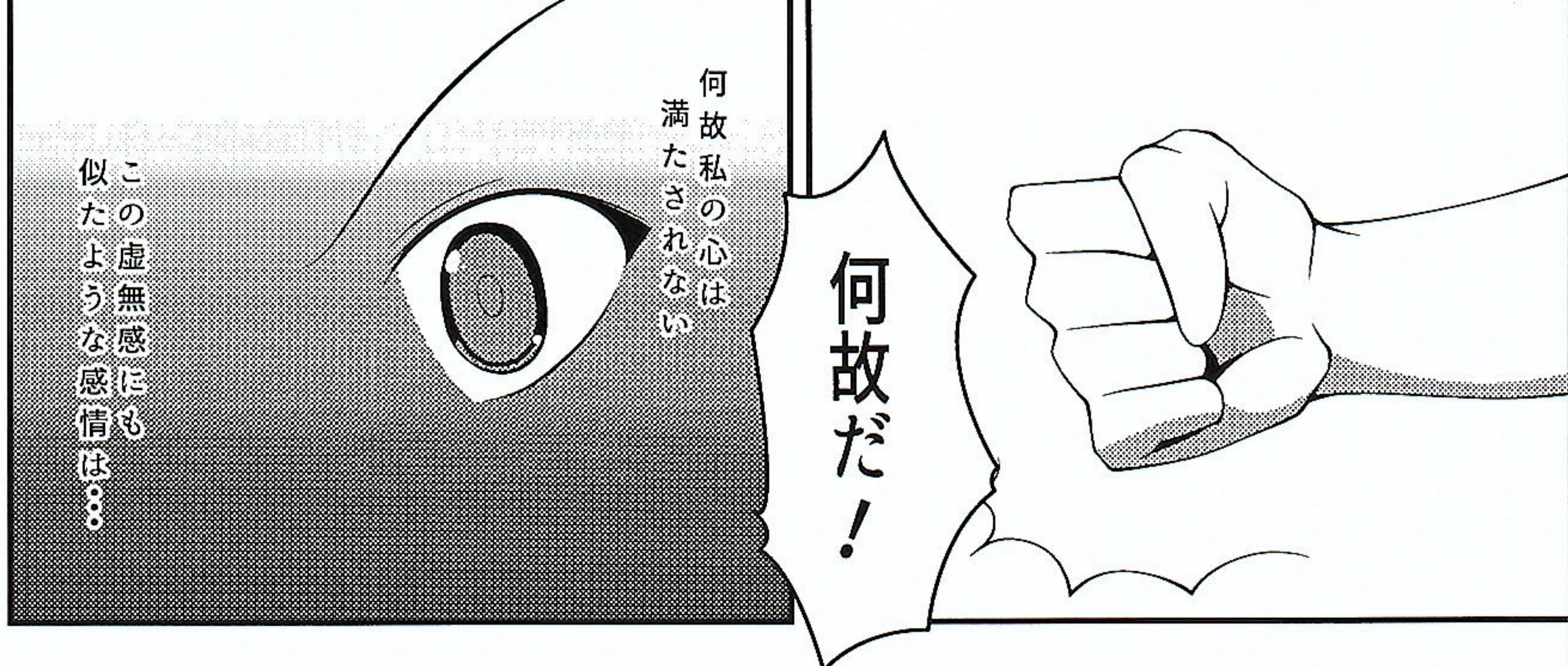
あ

んあ

私は快樂に身を委ねていった

あーあー

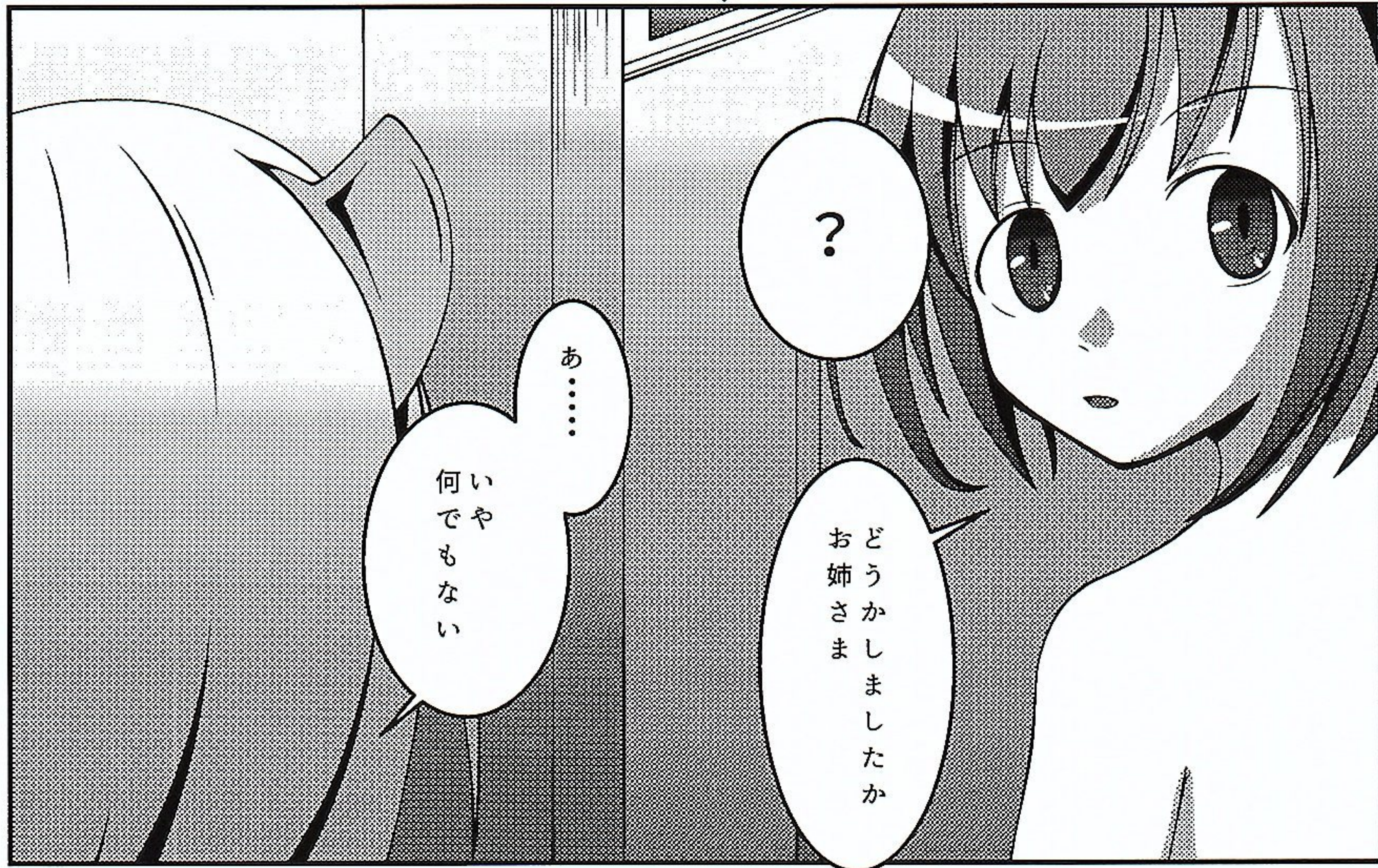




何故私の心は
満たされない

この虚無感にも
似たような感情は……

何故だ！



どうかしましたか
お姉さま

あ……

いや
何でもない



どうしたとびうのだ

私は今こんなにも
幸せではないか

現にレイラと
こうして……

それは
心がないからだにゃん



最初は確かに
レイラにゃんを
抱くことで
満足してたかも
しれないにゃん

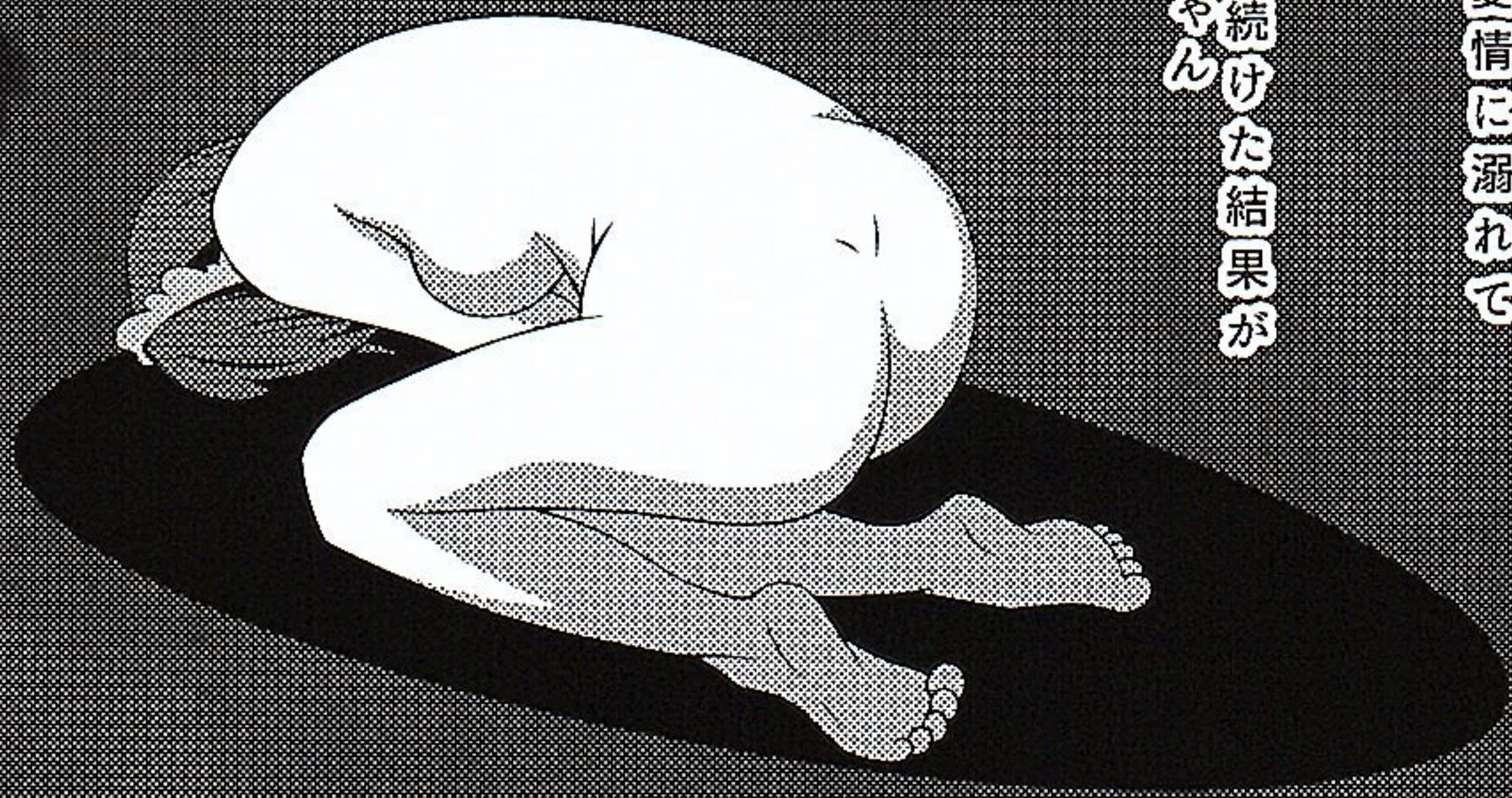
でもいつしか
それだけでは
満足できなくなっ
てしまったにゃん

人間の欲望なんて
際限がないにゃん

レイラにゃんの
カラダにゃんは
満足できなくなっ
て心も支配した
いと思っただけ
にゃん

自己満足ののために
築き上げた虚構の愛情に溺れて

本質から目をそむけ続けた結果が
今ここにある現実じゃん



相手と交われば交わるほど
失われていく心

それがこの薬の副作用じゃん

そうか



私には……
レイラを愛する資格も
なかったんだな……

……ま

……えさま

お姉さま

大丈夫ですか

顔色があまり
優れないようですけど

ああ……

大丈夫だ

ちよつと夢を
見ていたようだ

夢……ですか

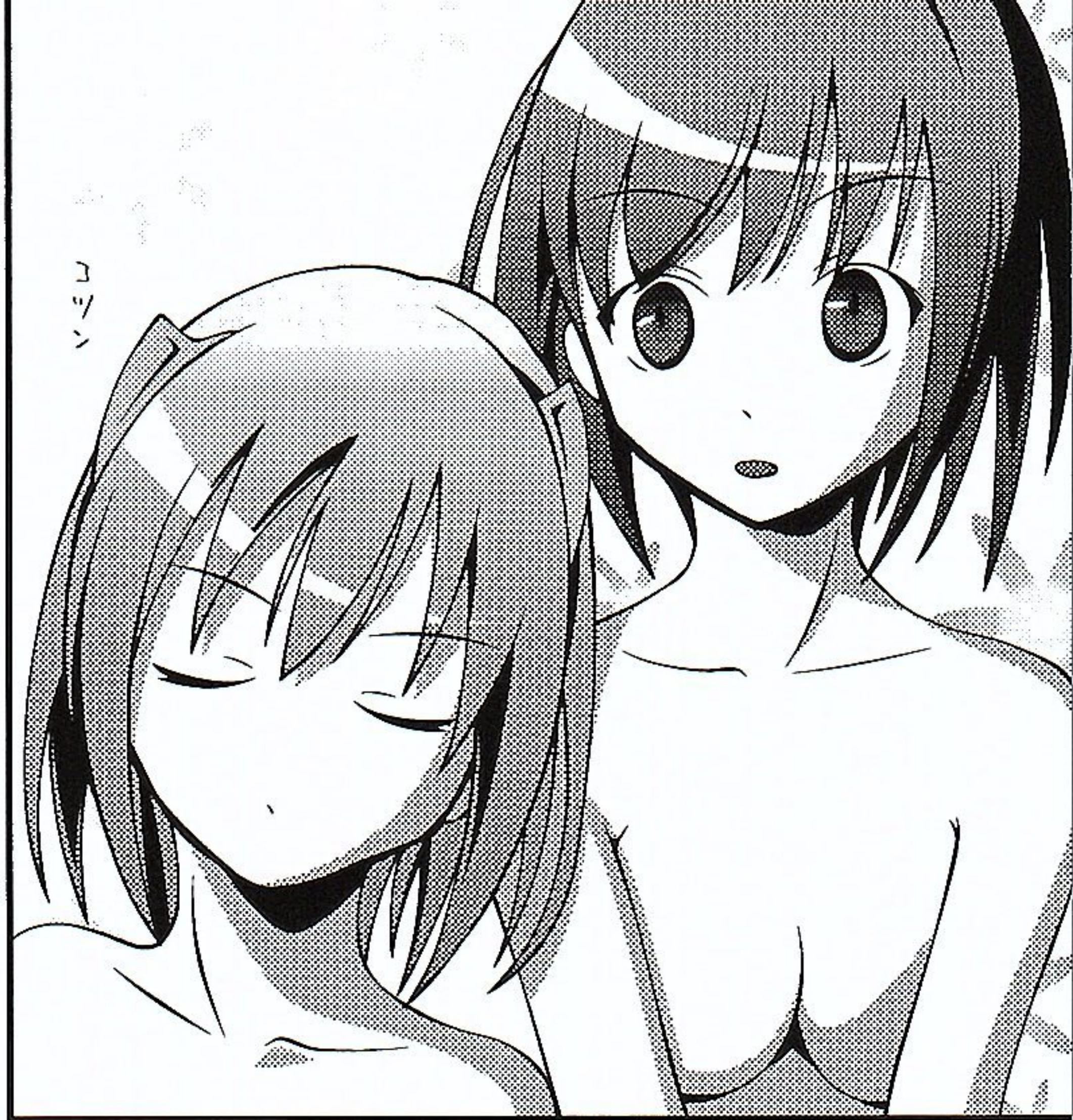
はは……

そうだな

私は今こうして
お姉さまといられることが
夢のようですけどね

このレイラの
言葉も

すべて
作り出された
まがいもの……

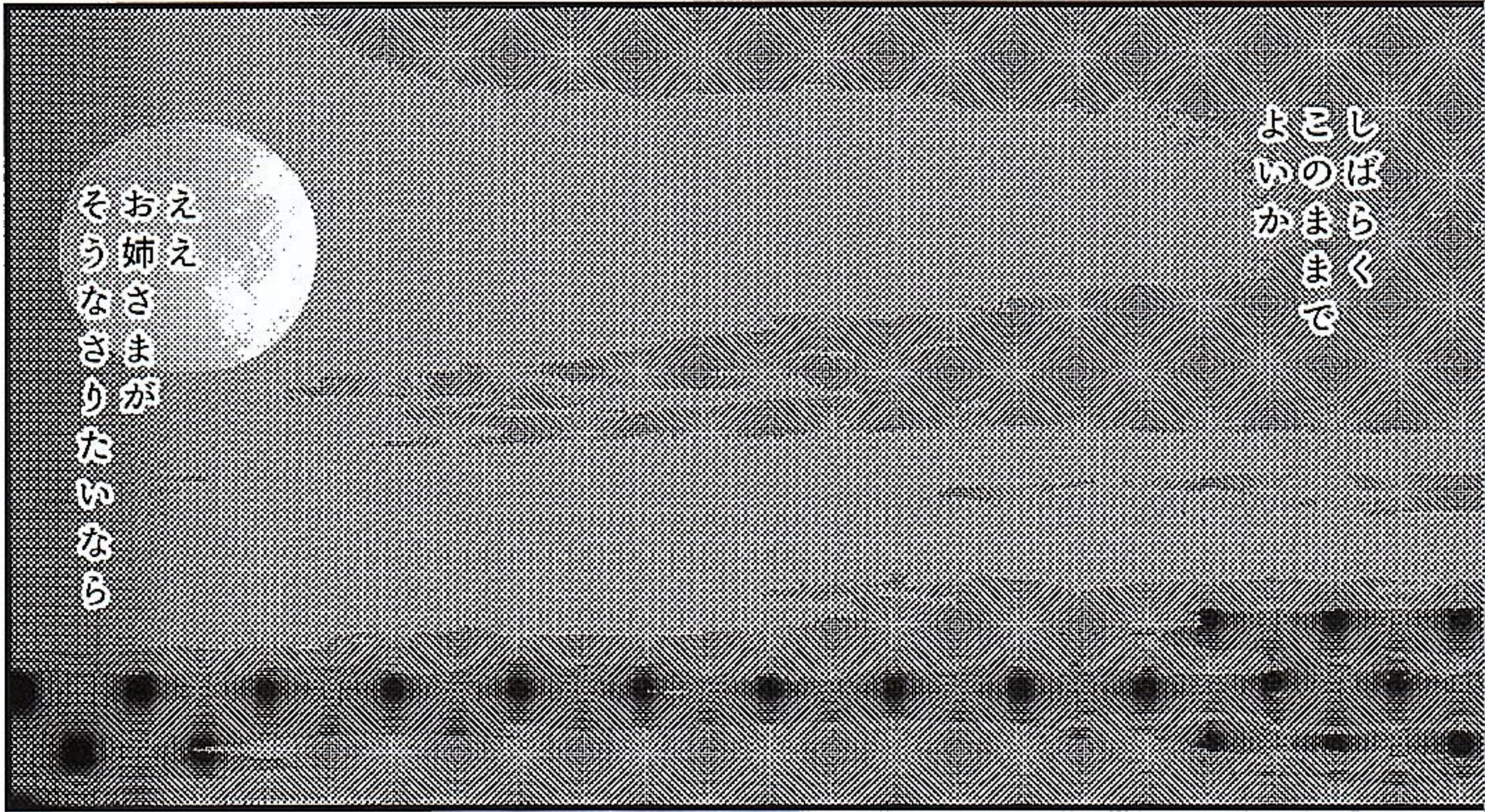


コロン

ど……
どうしたんですか
お姉さま

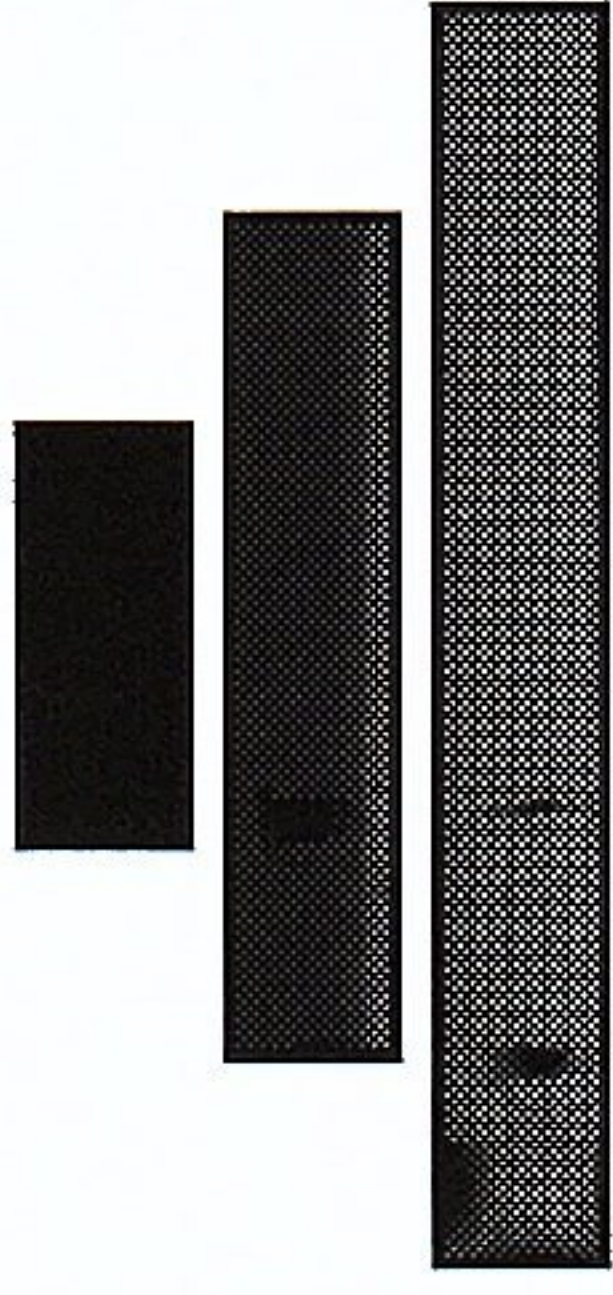
イヤか？

イヤじゃありませんよ
モチロン

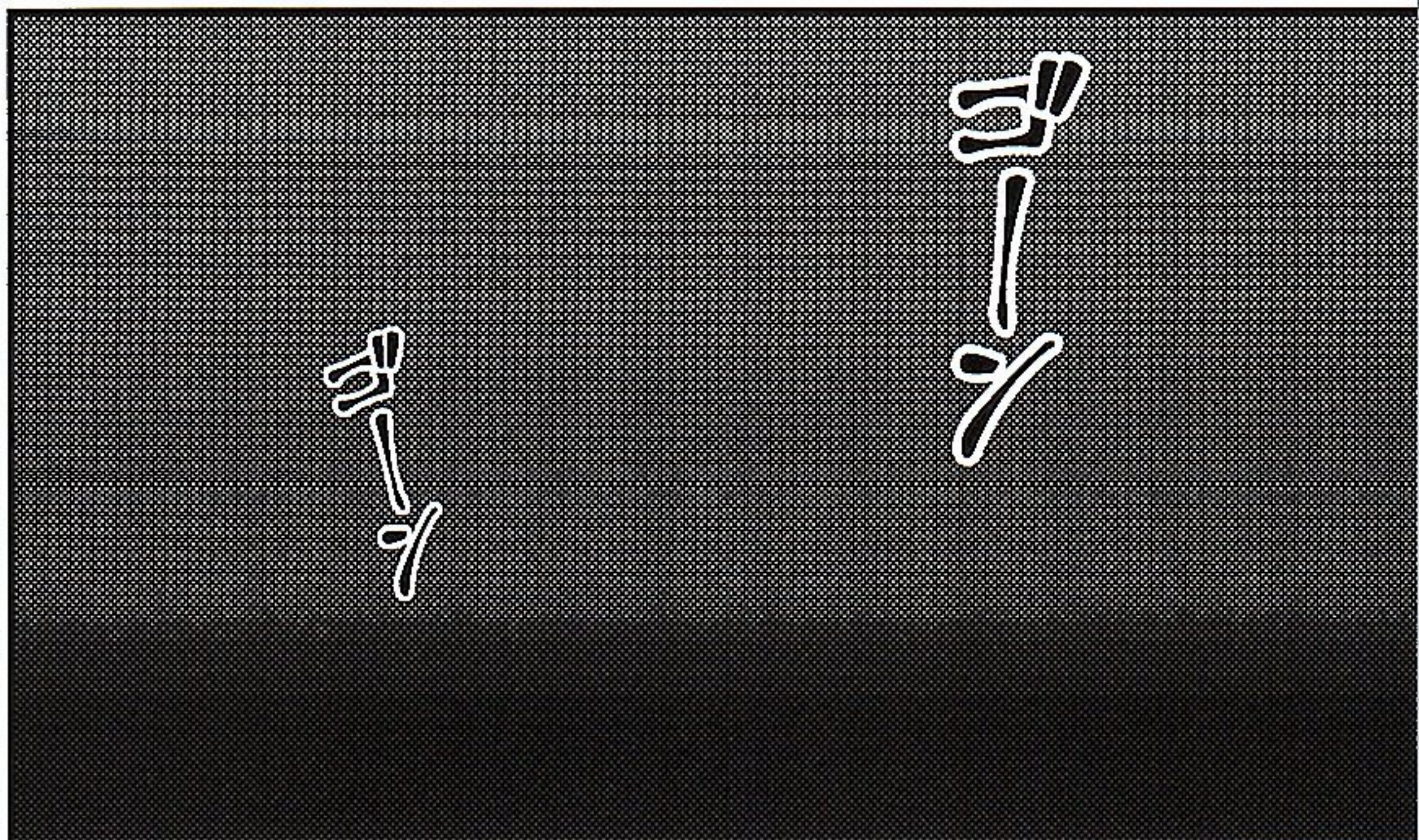


しほらく
ままで
いのか

ええ
お姉さまが
そうならなら



0時……か



もうこんなことは
今日かぎりにはしよう

レイラの言うように
夢を見ていたのだ

明日からはまた
以前と変わらない
日常に戻るだけ……

あ

起きた

レイラ……

おはようございます
お姉さま

今晩は
お疲れでしたか

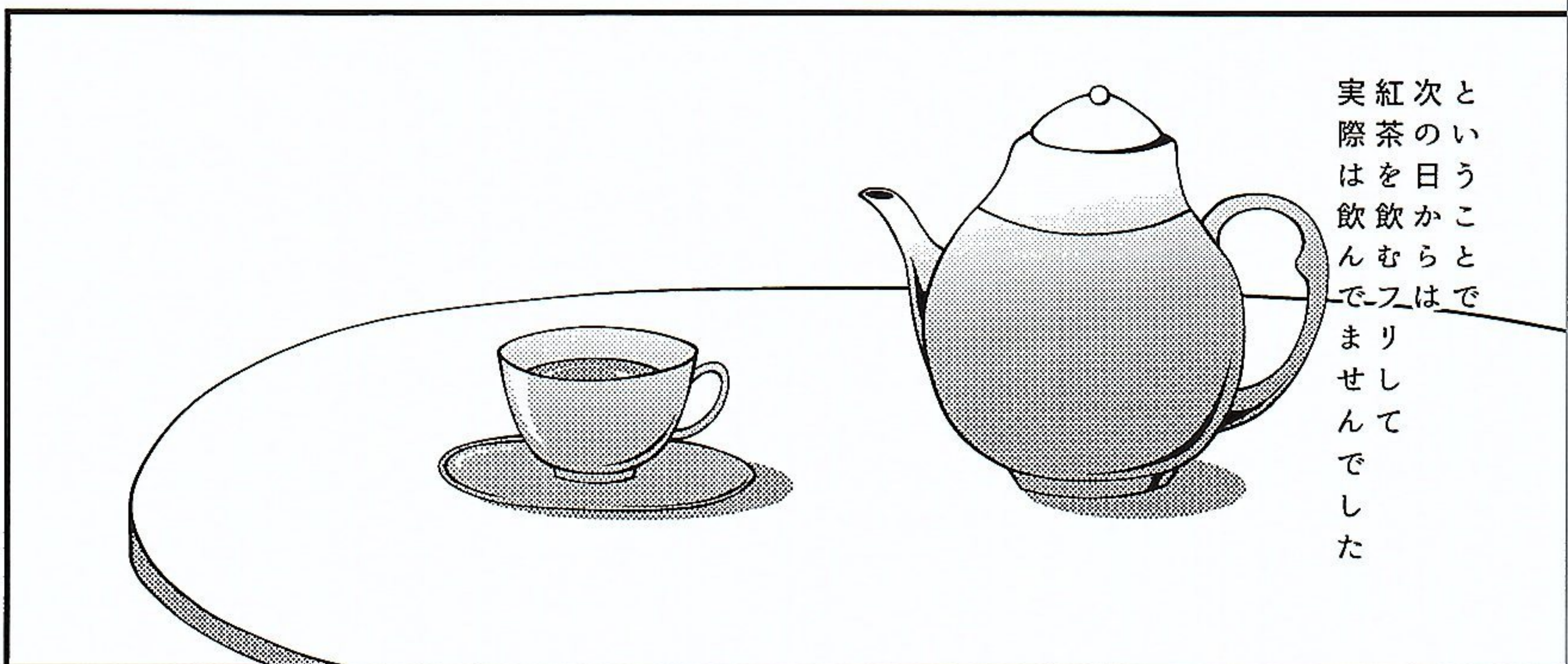
……どうして

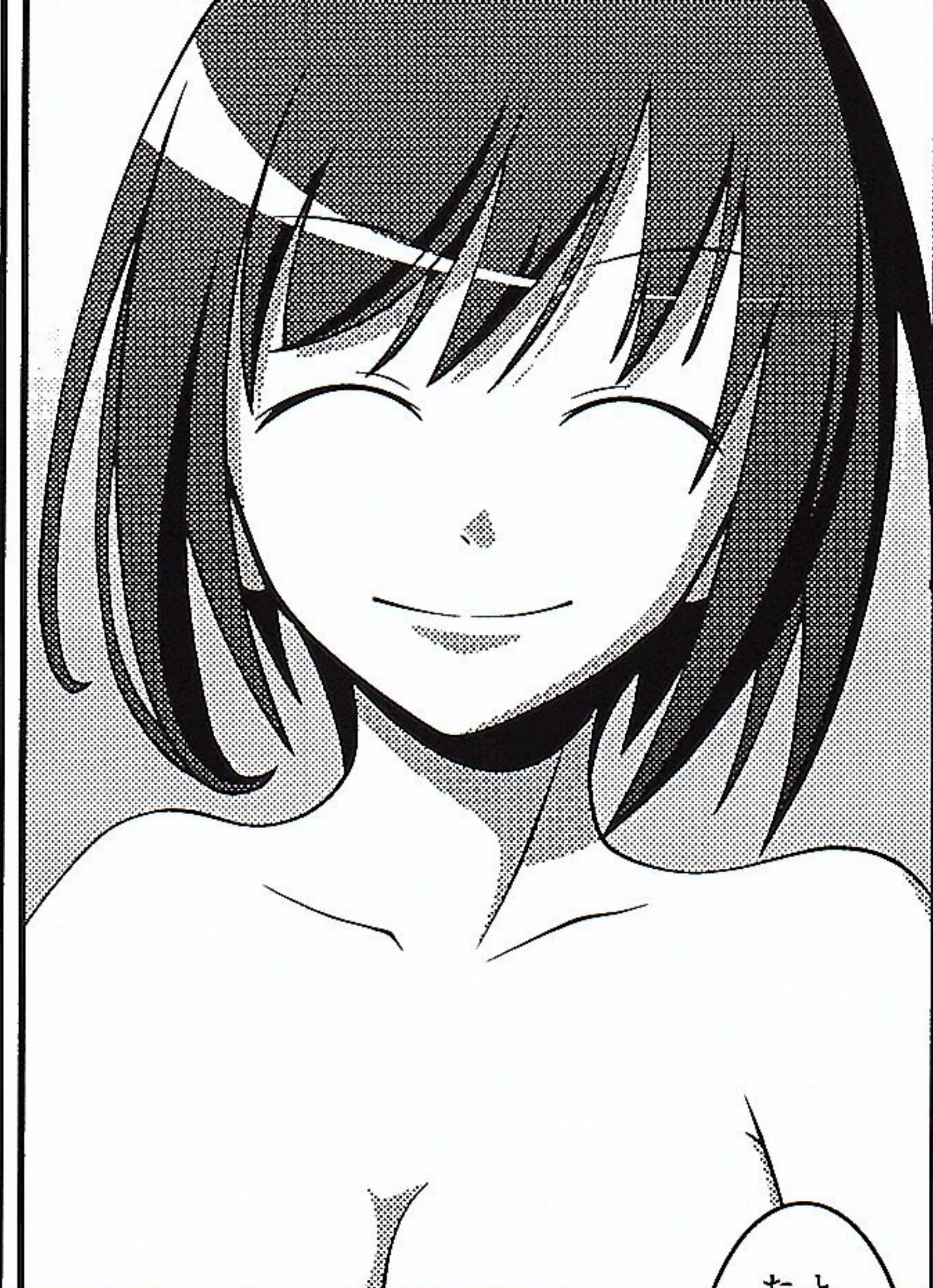
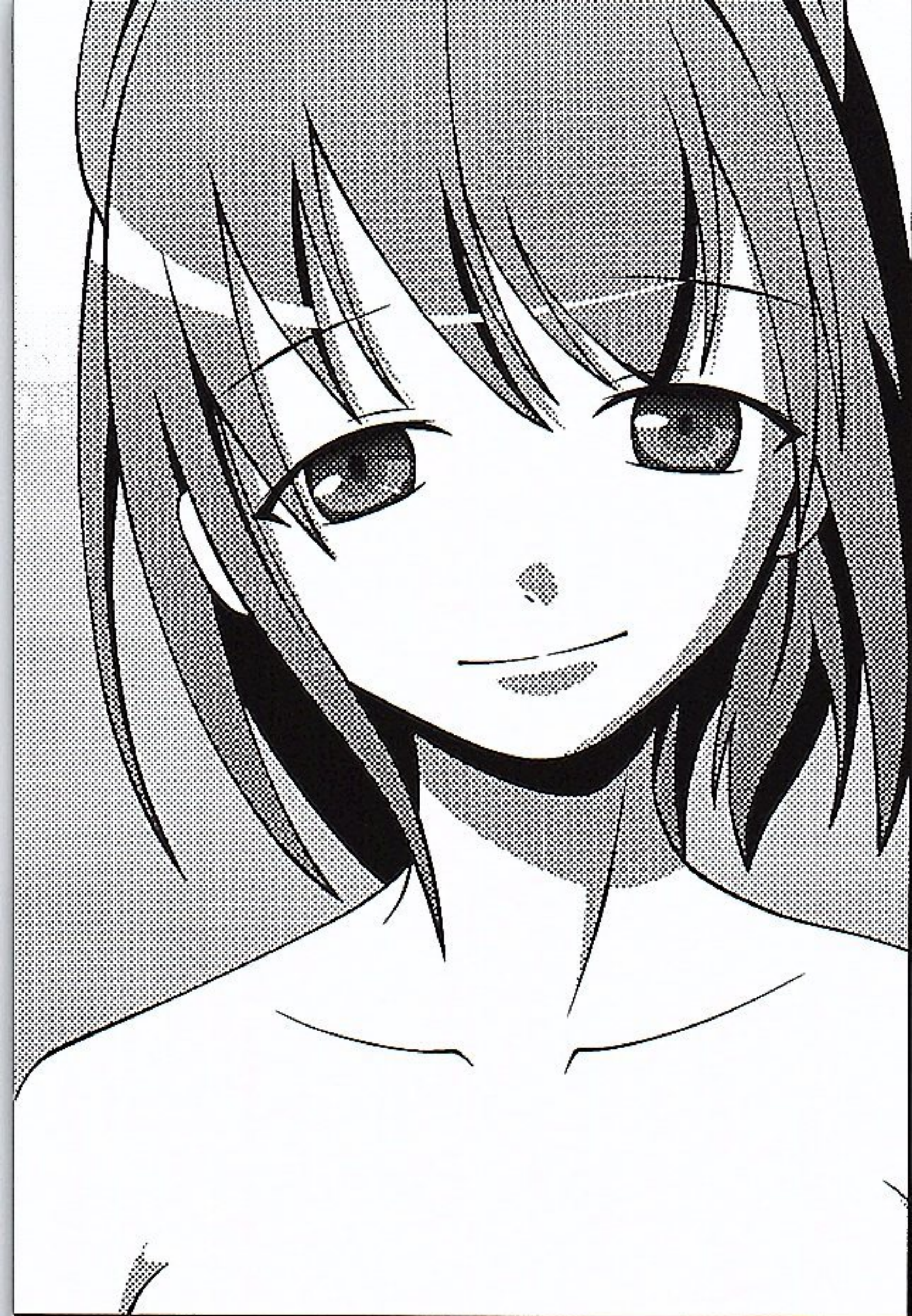
……

お姉さまは、
レイラに
お話を
聞かされた
のですね



数日前
私が記憶をなくした翌日





というわけで
お姉さま

今日は
寝かせませんよ

え……

普通に
寝るつもり
だったのだが……

ガ
——
ン

どくろま

嘘は
だは
よは

もう……
お姉さまったら

おい!!!

アテナがめっちゃ萌えキャラになってるやん

午前零時の
叙唱

SLOT FANTASIA 05

発行 : 真・大吟醸

印刷 : 株式会社 ブロス

発行日 : 2014/12/29

<http://shindaiginjo.blog.fc2.com>

shindaiginjo@gmail.com

**SLOT
FANTASIA 05**



午前零時の
叙唱

真・大吟醸